# 第3期箕面市地域福祉活動計画

# 資 料 編

1. 箕面市地域福祉活動計画策定委員会・・・・51ページ
2. 校区別地域検討会・・・・・・・・・53 ページ
(1)地域情報シート・・・・・・・・55ページ
(2)校区別地域検討会実施結果・・・・・83ページ
3. 当事者団体ヒアリング実施結果・・・・・110ページ
4. テーマ別検討会・・・・・・・・・116ページ
(1)市・社協職員合同ワーキング・・・・116ページ
(2) テーマ別検討会実施結果・・・・・117ページ

### 1. 箕面市地域福祉活動計画策定委員会

#### (1)設置要綱

(設置)

第1条 箕面市社会福祉協議会と地域住民や社会福祉に関する活動を行う者等が相互に連携し、地域福祉活動についての具体的目標を設定する「第3期箕面市地域福祉活動計画」を策定するため、「箕面市地域福祉活動計画策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について検討し、その結果を箕面市社会福祉協議会会長 (以下「会長」) に報告する。

- (1) 第3期箕面市地域福祉活動計画の策定に関し、必要な調査、研究、審議に関すること。
- (2)地域福祉活動推進のための目標設定及び計画案の策定に関すること。

(委員会の構成)

第3条 委員会は次に掲げる者のうちから、会長が委嘱する。

- (1) 理事
- (2) 地区福祉会会長会
- (3) 当事者組織
- (4) 更生保護関係団体
- (5) 青少年関係団体
- (6) ボランティア・市民活動団体
- (7) 社会福祉事業者
- (8) 民生委員児童委員協議会
- (9) 行政関係者
- (10) 学識経験者

(委員長及び副委員長)

- 第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。
- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する。
- 3 委員長は委員会を代表し、会務を統括する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会 議)

第5条 委員会の会議は必要に応じて委員長が召集し、委員長が会議の議長となる。

(意見の聴取)

第6条 委員会は必要があると認めたときは、委員以外の者を会議に出席させて説明を求め、又は意見を聴くことができる。

(事務局)

第7条 委員会の事務局は、箕面市社会福祉協議会 地域福祉推進課に置く。

(設置期間)

第8条 委員会の設置期間は、委員の委嘱の日から策定の終了までとする。

(補 則)

第9条 この要綱に定めるものほか、必要な事項は委員長が別に定める。

附 則(省略)

### (2)開催状況

	開催日時	審議案件	出席者数
第1回	令和 2 年 10 月 16 日 13:30~15:30	<ul><li>・委員委嘱</li><li>・第2期活動計画の振り返り</li><li>・第3期活動計画策定に向けて</li></ul>	11 名
第2回	令和 3 年 1 月 22 日 13:30~15:30	<ul><li>・第2期地域福祉計画の共有</li><li>・第3期活動計画策定の進捗確認</li><li>・第3期活動計画の構成</li></ul>	11 名
第3回	令和 3 年 9 月 17 日 13:30~15:30	・テーマ別検討会の報告 ・第3期箕面市地域福祉活動計画(案) ・今後のスケジュール	11 名
第4回	令和 3 年 10 月 29 日 13:30~15:30	<ul><li>・第2期箕面市地域福祉計画策定の進捗状況</li><li>・第3期箕面市地域福祉活動計画(最終案)</li><li>・地域福祉活動推進委員会について</li></ul>	10 名

### (3)委員名簿

任期:令和2年10月16日から計画策定修了まで

委員	員名	所属・団体名	役職	選出分野	任期
上田	春雄	箕面市社会福祉協議会	理事	社協理事	
山内	照和	萱野東小地区福祉会	会長	地区福祉会会長会	
森永	宏一	箕面認知症家族会 びわの会	会長	当事者組織	
下野「	百合子	肢体不自由児者父母の会	副会長	当事者組織	
池田	正	箕面地区保護司会	会長	更生保護関係団体	
西野(	俊治	箕面市青少年を守る会 連絡協議会	会長	青少年関係団体	
牧野	紀之	特定非営利活動法人 市民活動フォーラムみのお	事務局長	ボランティア ・市民活動団体	
高島	泰弘	社会福祉法人大阪府社会福祉 事業団	在宅サー ビス科長	社会福祉事業者	令和3年6月 30日まで
大西	正乘	特別養護老人ホーム白島荘	事務長	化去個性爭未有	令和3年7月1 日から
本田 语	喜久子	箕面市民生委員児童委員協議 会	副会長	民生委員児童委員 協議会	
北村	清	箕面市健康福祉部	部長	行政関係者	
川本(	健太郎	神戸学院大学	准教授	学識経験者	

### 2. 校区別地域検討会

小学校区ごとに、校区内の課題や 5 年後の目指す姿を住民同士で話し合いました。実際には、新型コロナウイルス感染拡大により、7 校区は検討会を開催し、残りの 7 校区はアンケートによる意見集約を行いました。検討会の参加者とアンケートの回答者は併せて 356 人でした。

#### 【開催状況】

校 区	日 時	参加人数
北	令和 2 年 10 月 31 日(土) 10:00~12:00	30 名
萱野北	31 日(土) 13:30~15:30	29 名
豊川南	11月8日(日)13:30~15:30	34 名
萱野	14 日(土) 10:00~12:00	26 名
中	14 日(土) 13:30~15:30	40 名
東	15 日(日) 10:00~12:00	53 名
萱野東	29 日(日) 10:00~12:00	35 名
彩都の丘		11 名
豊川北	アンケートによる意見集約	19 名
箕面	実施期間:令和3年4月21日~5月14日	25 名
西		14 名
南	マンノ・リンス英日毎毎	14 名
西南	アンケートによる意見集約 実施期間:令和3年5月9日~5月24日	16 名
止々呂美	V//6/// 1 0 1 0 1 0 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	10 名

<sup>※</sup>アンケート実施校区の参加人数はアンケート回答者数

### 【呼びかけ団体】

地区福祉会、民生委員・児童委員、自治会、マンション管理組合、青少年を守る会、青少年指導員、老人クラブ、コミュニティセンター管理運営委員会、保護司会、更生保護女性会、PTA、こども会、よりそい隊事業所、地区防災委員会、防犯委員会、介護・福祉サービス事業所、ボランティアグループ・NPO法人、集いの場、地域包括支援センターなど

#### 【校区別地域検討会 実施方法】

校区別地域検討会は参加者によるワークショップ方式で行いました。

- 1.「地域情報シート」及び「課題整理シート」の内容について、参加者全体で共有。
- 2. 5~8人ほどのグループに分かれる。
- 3. 参加者各自で「5年後の姿 ~こんな校区でありたい~」のイメージを付箋に記入。
- 4. 各自記入した付箋の内容を共有し、意見の多かった「5年後の地域の姿」から、「そのためにできること」「やりたいこと」について、グループで話し合う。

話し合った結果を7つのテーマ(高齢者、子ども、障害者、つながり、地域活動、健康、防災・防犯、 その他)に分け、目指す姿と取り組み内容ごとに整理しまとめました。

### 【アンケートによる意見集約 実施方法】

令和2年12月から令和3年1月に地域検討会を実施する予定であった7校区は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期となりました。令和3年度に入り、延期していた校区別地域検討会の開催を検討しましたが、緊急事態宣言の発令により開催を断念し、アンケートによる意見集約に切り替えました。

#### ■アンケート質問内容

- 質問1. ご自身や周りの方が日々生活していくうえで、課題に感じることがありましたら ご記入ください。
- 質問2. 近い将来(5年後、10年後…)、どのような校区になれば良いと感じますか。 小さなことでも大きなことでも、具体的でも抽象的でも、どのような分野の内容で あっても結構です。
- 質問3. 2を実現していくため、どのような取り組みや活動があれば良いと思いますか。 ご自身でできる・できないは問いません。仲間や他団体と一緒ならできることなど、 どんなことでも結構です。

回答をテーマごとに分類し、項目を次のとおりとして一覧表にまとめた。

質問1 → 課題、 質問2 → 校区の目指す姿、 質問3 → そのための取り組み内容

### 【地域情報シート】

地域情報シートは、小学校区ごとの地域特性、人口等の基礎情報や、地域団体等の情報をまとめたものです。このシートをもとに校区の情報を共有し、校区別地域検討会を実施しました。

本シートは令和2年度に作成したもので、地区担当職員が把握しているものを掲載しています。

小学校区	地域情報シート 掲載ページ	地域検討会結果 掲載ページ
① 彩都の丘小校区	55~56ページ	83~84ページ
② 豊川北小校区	57~58ページ	85~87ページ
③ 東小校区	59~60ページ	88~89ページ
④ 豊川南小校区	61~62ページ	90 ページ
⑤ 萱野東小校区	63~64 ページ	91~92ページ
⑥ 萱野北小校区	65~66 ページ	93 ページ
⑦ 萱野小校区	67~68 ページ	94 ページ
⑧ 北小校区	69~70ページ	95 ページ
9 中小校区	71~72 ページ	96 ページ
⑪ 箕面小校区	73~74 ページ	97~100ページ
⑪ 西小校区	75~76ページ	101~10ページ
⑫ 南小校区	77~78 ページ	104~105ページ
⑬ 西南小校区	79~80ページ	106~107ページ
⑭ 止々呂美小校区	81~82ページ	108~109ページ

# (1)地域情報シート ①彩都の丘小校区 地域情報シート

箕面市社協作成 2021.3月

小学校区	彩都の丘	エリア	彩都栗生南1丁目18番、3丁目~、彩都栗生北全部
地域特性			
地理的特徴	「彩都 (国際) 月にグランドで る。北西部の	文化公園都市) ナープンした。 影都なないろ	都市再生機構や民間開発事業者、経済団体、大学、研究機関などが参画する 建設推進協議会」によって開発された「国際文化公園都市」。平成19年3 茨木市北部から箕面市東部にかけての緑に恵まれた丘陵地に位置してい 公園付近から粟生間谷に向かって川合裏川が流れ、大阪平野を見渡す美しい は公募によって決定された愛称。
住宅状況	都粟生南5丁目 寄りにジオ・ 彩都粟生北2丁	と6丁目、彩 ブランズ彩都で 目の彩都なな	と、店舗等が少ない一方、戸建て住宅・大型マンションが集中している。彩 郵栗生北2丁目に戸建て住宅が集中している。大型マンションとして中部東 いだまりの丘とジオ彩都いぶきの森、南部にエルグレース箕面彩都がある。 いろ公園より以北となる彩都栗生北7丁目周辺は新興住宅地で現在も開発途 が多く居住している。
生活環境 (商店・ 金融機関等)	に開業した「注 都西駅周辺の銀	シェフカワカ 限行や郵便局( 面市立彩都の)	は隣接する地区にある「ガーデンモール彩都」や「アヤハディオ」、2019年 ミ」が中心。金融機関も、茨木市の彩都やまぶきや彩都あさぎに所在する彩 の利用が主。ほか、コンビニATMがある。2011年春に箕面市で2番目の小中ー 丘小学校・中学校が開校。景観の美しい大型の公園もあり、子育で世帯に親 る。
交通 アクセス状況	距離の坂が多。 をつなぐ茨木乳 部地区を経由し 線が運行してし 阪府道4号茨木	く、高齢者等に が都線、千里で 会野まで運行 いる。自家用 が 能勢線や国道	る茨木市の彩都あさぎに所在する大阪モノレール彩都西駅の利用が中心。長ことっては徒歩の負担が大きいと思われる。バスはJR茨木駅と彩都西駅間中央駅から彩都西駅を経由する北大阪ネオポリス線、JR茨木駅から彩都中では多いである。京本町がは一次では一次では、大阪府道1号茨木摂津線を経由することで移動できる。また、ク道4号線北西部の途上にある彩都トンネルを経由することでもアクセスでき

基礎情報							2020.5.1現在
人口	5,724人	世帯数	1,647世帯	世帯平均員数	3.5人	自治会加入率	47. 2%
人口 (0~14歳)	2,211人	人口 (15~64歳)	3,297人	人口 (65歳~)	183人	人口 (75歳~)	44人
人口割合 (0~14歳)	38. 6%	人口割合 (15~64歳)	57.6%	人口割合《65歳~》	3.2%	人口割合(75歳~)	0.8%
出生率	1.04%	死亡率	0.12%	転入率	8.6%	転出率	3. 8%
一人暮高齡者人口	33人	高齢者のみ世帯	49人	要介護認定者数	17人	要支援認定者数	5人
身体障害者数	53人	知的障害者数	27人	精神障害者数	20人	外国人登録者数	75人

種別	数	特記事項
市民会館 (貸館)	1	コミュニティセンター彩都の丘会館
保育施設	2	彩都みのり保育園、アスク彩都西保育園
学校	2	彩都の丘小学校、彩都の丘中学校(彩都の丘学園)
自治会館	0	
公園	5	彩都なないろ公園、箕面彩都栗生南6丁目広場、もえぎ公園、やまもも公園、 見晴らし公園
その他施設	0	

属性	対象数	特記事項
地域団体	10	民生委員児童委員協議会、青少年を守る会、青少年指導員連絡協議会、彩都の丘学園 PTA、コミュニティセンター管理運営委員会、彩都の丘小校区こども会、保護司会、地区 防災委員会、彩都の丘小学校区スポーツ推進委員、彩都の丘まつり実行委員会
自治会・ マンション 管理組合	9	自治会6(連合自治会:コモンステージ彩都自治会、彩都粟生南5丁目自治会、彩都栗生南6丁目自治会、彩都栗生南七丁目自治会、彩都ガーデンテラス自治会、彩都ガーデンフロント自治会) 自治会なしマンション管理組合3(ジオ彩都いぶきの森 管理組合、ジオ・ブランズ 彩都ひだまりの丘管理組合、エルグレース彩都箕面 管理組合)
サロン・ コミカフェ・ 自主G	3	高齢者サークル2 (彩りの会、彩 健康体操サークル) 子育でサークル1 (にじいろひろば) 、ほかコミセンサークル36
ボランティアG・ NPO・ 当事者団体	0	
医療・福祉 サービス 事業者	3	歯科医院1、高齢者関係2
生活関連 事業者	0	スーパー、コンビニ、訪問理容

団体名	設置数	活動内容	特記事項
地区福祉会	0	福祉ボランティア (集いの場運営、ご近所 での見守り等)	未組織
民生委員児童委員協議会	1	地域の身近な相談相手	民生委員・児童委員3名
青少年を守る会	1	青少年の健全育成 (子どもの安全見守り 隊、青色防犯パトロール他)	
青少年指導員連絡協議会	1	青少年健全育成のための環境づくり他(危) 険個所点検他)	6名
小学校PTA		父母と教師が協力し、地域や学校での児	彩製のに帯画DTA
中学校PTA	,	童・生徒の成長と幸福のための活動	彩都の丘学園PTA
コミセン管理運営委員会	ī	コミュニティーセンターの管理運営	
老人クラブ	0	60歳以上のかたが加入できる自主組織	
こども会	1	近所に住む小学生が集まる組織	彩都の丘小校区こども会
保護司会	1	犯罪や非行をした人たちの再犯防止や犯罪 予防のための啓発活動	2名
更生保護女性会	0	女性の立場から、犯罪や非行をなくし過ち に陥った人たちの立ち直り支援	
地区防災委員会	1	地域の防災体制づくり	彩都地区防災委員会
防犯委員会	1	地域の防犯活動	箕面市防犯委員会粟生彩都

医療・福祉サービス事業者

種別	数	特記事項
病院・診療所	0	
歯科医院	1	ファミーユデンタルオフィス
薬局	0	
高齢福祉	2	サービス付き高齢者向け住宅1(リラフィール彩都)、デイサービス1(デイサービスルアナ)
璋害福祉	0	
児童福祉	0	
その他福祉	0	

### 生活関連事業者

分野	校区内活動数	活動内容	特記事項
生活支援	0		
移動販売	0		
移送支援	0		移送支援事業者は校区内に所在していない が、オレンジゆずるタクシーが市内全域で利 用可
配食	0		校区内で利用できる配食業者あり
買い物	0		校区内には所在していないが、隣接区域に ガーデンモール彩都、シェフカワカミ彩都 店、コスモス 彩都店、アヤハディオ箕面彩 都店、くらしの杜、コンビニ各種がある
美容	0 訪問理報	容、訪問美容	

※箕面市社協が把握しているもの。主に事務所が校区内に所在する団体・事業所を記載

### ②豊川北小校区 地域情報シート

箕面市社協作成 2020.11月

小学校区	豊川北小	エリア	粟生間谷西3丁目4番~7番、10番~、4丁目~、粟生間谷東1丁目15番~ 21番、23番~、2丁目~、粟生外院6丁目3番~6番、9番~17番、19番 ~、彩都粟生南1丁目1番~17番、2丁目
------	------	-----	---

地域特性	
地理的特徵	東西に府道4号線茨木能勢線および9号線箕面池田線、山麓線、東側の南北に府道1号線が通る。北に行くにつれて坂道が多く、険しくなっていく。西部から東部に向かって勝尾寺川、中北部から南西部に向かって裏川、北西部から南西部に向かって川合裏川が流れており、川に沿うように田畑が多く存在、中心部にも田畑が多い。自然が豊かな校区。北東部には大阪大学箕面キャンパスがあり、船場移転後には広大な跡地となる。
住宅状況	南西部に粟生第二住宅が立ち並ぶ。北西部には古くからの戸建てが多くあり、中部から北部にかけては昭和40年代以降に民間事業者により住宅開発が進んだ地域があり(東山住宅や間谷住宅等)、高齢化が進んでいる。アパートや小規模の集合住宅は府道4号線と9号線に沿って点在。新興住宅地は東部の彩都粟生周辺に固まっているが、他にも小さな新興住宅地が校区内に若干数あり。若い子育て世代が多いと思われる。
生活環境 (商店・ 金融機関等)	校区内の主なスーパーは中南部のアプロ、マルヤス、東部のシェフカワカミ(2019年8月開店)。日 用品は東部のホームセンターアヤハディオやドラッグコスモス、中南部のキリン堂など。北西部、 北部、北中部には店舗がなく、買い物の際には自動車等の交通手段がないと不便。府道4号線沿いに コンビニがあるが、南東部に偏っている。隣接する東小校区に栗生ショッピングセンターがあり、 郵便局や金融機関もあって便利だが、居住地によっては坂道を徒歩や自転車で移動することになる ため負担が大きい。
交通 アクセス状況	南西部に豊川北小学校があり、東部北部からは通学所要時間が20~30分となる。最寄り駅は大阪モノレール彩都西駅があるが、北東部の校区外に位置するため、居住地によってはかなり遠い。自家用車がない場合、バス(阪急バス、ゆずるバス)が主要交通手段。南北の移動には坂道が多く、バス停への徒歩移動が、高齢者や身体の不自由な方にとって大きな負担となる。

基礎情報 2020.3.31現在 人口 9,614人 世帯数 4.932世帯 世帯平均員数 1.95人 自治会加入率 39.6% 人口 (0~14歳) 1, 150人 人口 (15~64歳) 5,738人 人口 (65歳~) 2,726人 人口 (75歳~) 1,476人 人口割合 (0~14歳) 12.0% 人口紹合(15~64歲) 59.7% 人口割合 (65歳~) 28.3% 人口割合 (75歳~) 15.4% 11. 2% 転出率 258人 要支援認定者数 63人 外国人登録者数 出生率 0.58% 死亡率 0.95% 転入率 12.1% 一人暮高齡者人口 741人 高齢者のみ世帯 278人 知的障害者数 653人 要介護認定者数 59人 精神障害者数 94人 身体障害者数 499人

公共施設など

種別	数	特記事項	
市民会館 (貸館)	1	1 コミュニティセンター豊川北小会館	
保育施設	4	去泉寺保育園、Pingu's English彩都小規模保育園、幼稚園型認定こども園粟生幼稚園 (保育)、れもんのこ彩都保育園	
学校	2	豊川北小学校、大阪大学箕面キャンパス	
自治会館	8	栗生第二住宅集会所、奥自治会館、川合自治会館、中村自治会館ほか	
公園	15	緑風公園、粟生北公園、東山南公園、東山北公園、間谷南公園ほか	
その他施設	3	環境クリーンセンター、東部高齢者くらしサポート、幼稚園型認定こども園粟生幼稚園(幼稚園)	

地域の主な社会資源 (2020.11月時点で把握しているもの)

属性	対象数	特記事項
地域団体	18	地区福祉会、民生委員児童委員協議会、青少年を守る会、青少年指導員連絡協議会、 豊川北小学校PTA、第六中学校PTA、コミュニティセンター管理運営委員会、豊川北第 一老人クラブ、豊川北第二老人クラブ、東山こども会、間谷こども会、ブルースカイ こども会、山の口なかよしこども会、レインボーこども会、保護司会、更生保護女性 会、地区防災委員会、防犯委員会粟生支部
自治会・ マンション 管理組合	20	自治会19(役のなり手や新しい世代の加入者が少ないことに課題を感じる自治会が多数。少数ながら新しく組織された自治会あり)、自治会なしマンション管理組合1
サロン・ コミカフェ・ 自主G	42	高齢者11(喫茶とよきたサロン、山の口しあわせサロン、山の口むつみ会、間谷いきいきクラブ等)、子ども1(豊川北小子育てサロン)、コミセンサークル30
ボランティアG・ NPO・当事者団体	2	ボランティアグループ2 (箕面里山工房、箕面だんだんクラブ)
医療・福祉 サービス 事業者	37	病院・診療所11、歯科2、調剤薬局1、高齢者関係19、障害者関係4
生活関連 事業者	17	スーパー3、コンビニ3、ドラッグストア2、訪問理容1、よりそい隊登録事業所8

団体名	設置数	活動内容	特記事項
地区福祉会	1	福祉ボランティア (集いの場運営、ご近所での見守り等)	役員13名
民生委員児童委 員協議会	1	地域の身近な相談相手	民生委員・児童委員14名、 主任児童委員1名
青少年を守る会	1	青少年の健全育成(子どもの安全見守り 隊、青色防犯パトロール他)	
青少年指導員連 絡協議会	1	青少年健全育成のための環境づくり他 (危険個所点検他)	6名
小学校PTA	1	父母と教師が協力し、地域や学校での児	豊川北小PTA
中学校PTA	1	童・生徒の成長と幸福のための活動	六中PTA
コミセン管理運 営委員会	1	コミュニティーセンターの管理運営	
シニアクラブ	2	60歳以上のかたが加入できる自主組織	豊川北第一老人クラブ、豊川北第二老人クラブ
こども会	5	近所に住む小学生が集まる組織	東山、間谷、ブルースカイ、山の口なかよ し、レインボー
保護司会	1	犯罪や非行をした人たちの再犯防止や犯 罪予防のための啓発活動	2名
更生保護女性会	1	女性の立場から、犯罪や非行をなくし過 ちに陥った人たちの立ち直り支援	役員幹事1名
地区防災委員会	ī	地域の防災体制づくり	
防犯委員会	1	地域の防犯活動	粟生支部

医療・福祉サービス事業者

種別	数	特記事項	
病院・診療所	11	共立さわらぎ産婦人科、おざわクリニック、ガラシア会(ガラシア病院・ニューラーフガラシア)、くさかクリニック、彩都リハビリテーション病院、松島クリニック、 箕面グリーンビィラ、みほクリニック、仁寿クリニック、横山スマイル内科クリニク	
歯科医院	2	落合歯科医院、加茂野歯科医院	
薬局	1	アイン薬局 箕面店	
高齢福祉	19	居宅3、訪問サービス5、通所サービス5、入所施設6 ガラシア会(ニューライフガラシア、ケアプランガラシア、訪問看護ステーションなど)、箕面グリーンビィラ、フィット・箕面、彩都リハビリテーション病院、ニチイケアセンター栗生、ロ・スカーロあおまだに、アジュール彩都、蛍の里デイサービス、ハートケア箕面彩都、シルバーリビング箕面彩都ほか	
障害福祉	4	居宅3、通所サービス1 ケアセンターフィット・箕面、訪問介護ステーションささゆりの宿り、ニチイケアセンター粟生、あったかいデイ彩都	
児童福祉	0		
その他福祉	0		

分野	校区内活動数	活動内容	特記事項
生活支援	0		校区内に事業所はないが、市内全域で利用 可:ふれあいホームサービス(社協)、み のおファミリー・サポート・センター(シ ルパー人材センター)
移動販売	0		校区内に事業所はないが、コープ、とくし 丸などの移動販売が市内全域で利用可
移送支援	0		校区内に事業所はないが、オレンジゆずる タクシー、社協運転ボランティア(福祉 会)などを市内全域で利用可
配食	0		校区内に事業所はないが、校区内で利用で きる配食業者あり
買い物	8	スーパー3、コンビニ3、ドラッグストア2	食品館アプロ、マルヤス、シェフカワカ ミ、セブンイレブン、ファミリーマート 、キリン堂、ドラッグコスモス
美容	1	訪問美容	ビューティーサロンアドヴァン

### ③東小校区 地域情報シート

箕面市社協作成 2020.11月

	小学校区	東小		粟生間谷西1丁目、2丁目、3丁目1番~3番・8番・9番、粟生間谷東1丁目 1番~14番・22番、粟生外院1丁目~5丁目、6丁目1番・2番・7番・8番・ 18番、粟生新家2丁目~
--	------	----	--	--

#### 地域特性

-0-20 14117	
地理的特徵	南側の国道171号線、北側の国道9号線に挟まれた地域。北に行くにつれて坂道が多く、急になっていく。北部から茨木市に向かって勝尾寺川、北西部から南部に向かって箕川が流れている。
住宅状況	北部には箕面粟生第1・第3・第4・第5・第6・第7住宅および大きな集合住宅が建っている。南東部および南西部にも大きなマンション・集合住宅がある。戸建て住宅は中心部に多く存在している。
生活環境 (商店・ 金融機関等)	東寄りの中心部に小学校があり、西端から通学所要時間は20分程度。南部にドラッグストアやコンビニがあるが、食品類は南部にある農協や、北部の粟生ショッピングセンターにあるスーパーコノミヤまで行く必要があり、居住地によっては負担が大きい。隣の校区の店舗へ行くケースもある。
交通 アクセス <mark>状況</mark>	最寄り駅は阪急北千里駅と大阪モノレール豊川駅があるが、2~3kmほど離れている。自家用車がない場合、バス(阪急バス、ゆずるバス)が主要交通手段。居住地によっては坂道が多く、バス停までの徒歩移動が困難なケースがある。みのおキューズモールまでも距離があるため、北大阪急行延伸の恩恵も薄いとみられる。

2020.3.31現在 基礎情報 10,568人 世帯数 4,768戸 世帯平均員数 2.2人 自治会加入率 52.77% 人口 人口 (0~14歳) 1,070人 人口 (15~64歲) 5,979人 人口 (65歳~) 3,519人 人口 (75歳~) 1,798人 人口割合 (0~14歳) 10, 1% 人口割合 (15~64歲) 56.6% 人口割合 (65歳~) 33.3% 人口割合 (75歳~) 17.0% 出生率 0.43% 死亡率 1.02% 転入率 7.9% 転出率 7.4% 一人暮高齢者人口 811人 高齢者のみ世帯 894戸 要介護認定者数 302人 要支援認定者数 129人 身体障害者数 368人 知的障害者数 87人 精神障害者数 76人 外国人登録者数 181人

#### 公共施設など

種別	数	特記事項	
市民会館(貸館)	2	コミュニティセンター東小会館、東生涯学習センター	
保育施設	5	東保育所、こぐまの森保育園箕面園、のいちご保育園、ひじりとよかわ保育園、 認定こども園ひじりひがし幼稚園	
学校	3	東小学校、第六中学校、箕面東高等学校	
自治会館	12	聚楽館、常楽会館、豊川住宅自治会館、集会所9	
公園	19	箕面東公園、粟生南公園、皿池公園、外院南 1 号公園ほか	
その他施設	7	豊川支所、東図書館、箕面警察署粟生間谷交番、消防署東分署、光明の郷ケアセン ター、認定こども園ひじりひがし幼稚園、箕面市東部高齢者くらしサポート	

#### 地域の主な社会資源 (2020.11月時点で把握しているもの)

属性	対象数	特記事項	
地域団体	15	地区福祉会、民生委員児童委員協議会、青少年を守る会、青少年指導員、東小学校 PTA、第六中学校PTA、コミュニティセンター管理運営委員会、外院の里クラブ、箕面 東朗友会、ポナージュ倶楽部、東小校区こども会、保護司会、更生保護女性会、地区 防災委員会、防犯委員会	
自治会・ マンション 管理組合	26	自治会23(役のなり手不足や自治会加入数の減少を危惧している自治会が多い。箕面市の積極的な加入勧奨を望む自治会、住民に向けて自治会活動に関しての全戸アンケートを実施する自治会などさまざま)、自治会なしマンション管理組合3	
サロン・ コミカフェ・ 自主G	70	高齢者8、子ども1、コミセンサークル30、生涯学習センターサークル31	
ボランティアG・ NPO・ 当事者団体		ボランティアグループ14 (箕面東コミュニティスポーツクラブ、箕川・水とみどりの会、箕面東小おやじの会+、みのお東・こども食堂の会、手話サークル「あお」ほか)NPO法人1	
医療・福祉 サービス 事業者	41	うち高齢福祉14、障害福祉6、病院・診療所7、歯科医院6、薬局8	
生活関連 事業者	38	スーパー1 (コノミヤ)、コンビニ3、ドラッグストア2、訪問理容3、司法書士行政書 士事務所1、大阪北部農協、郵便局2、よりそい隊登録事業者25	

団体名	設置数	活動内容	特記事項
地区福祉会	1	福祉ボランティア (集いの場運営、ご近所 での見守り、子どもの安全見守り等)	役員14名
民生委員児童委 員協議会	1	地域の身近な相談相手	民生委員・児童委員10名、 主任児童委員1名
青少年を守る会	1	青少年の健全育成、青色回転灯パトロール カー巡回	
青少年指導委員	1	青少年健全育成のための環境づくり他(危 険個所点検他)	東小校区青少年指導員
小学校PTA	1	父母と教師が協力し、地域や学校での児	東小PTA
中学校PTA	1	童・生徒の成長と幸福のための活動	六中PTA
コミセン管理運 営委員会	1	コミュニティーセンターの管理運営	
老人クラブ	3	60歳以上のかたが加入できる自主組織	外院の里クラブ、箕面東朗友会、ボナー ジュ倶楽部
こども会	1	近所に住む小学生が集まる組織	東小校区こども会
保護司会	ា	犯罪や非行をした人たちの再犯防止や犯罪 予防のための啓発活動	1名
更生保護女性会	1	女性の立場から、犯罪や非行をなくし過ち に陥った人たちの立ち直り支援	役員幹事2名
地区防災委員会	1	地域の防災体制づくり	
防犯委員会	2	地域の防犯活動	粟生支部、小野原支部

医療・福祉サービス事業者

種別	数	特記事項
病院・診療所	7	つちたにこどもくりにっく、和心会 ほそいクリニック、横見皮フ科、荒木医院、水野眼科、ミナテラスかすがいクリニック みなみクリニック
歯科医院	6	清水歯科医院、仲田歯科医院、福原歯科、わくもと歯科医院、久保歯科医院、UDCうえだ歯科クリニック
薬局	8	キョウエイ調剤薬局箕面店、ファミリー薬局、ちーぷ薬局箕面店、スギ薬局箕面東店・箕面小野原店、サン薬局、ミドリヤ薬局、ひまわり薬局
高齢福祉	14	居宅介護支援3、通所サービス2、訪問サービス6、入所施設2、福祉用具1 光明の郷ケアセンター、リーベケアプラン、でいらいと、ヘルパーステーションほく と、あい・シビル、フォーユー訪問看護ステーション、養生訪問看護ステーション、 訪問看護ステーションHAPPY、白島荘小規模多機能居宅介護事業所「ひねもす」、ファ ンライフ箕面、としとランド北大阪店
障害福祉	6	居宅介護支援2、通所施設2、放課後デイサービス2 光明の郷ケアセンター、あい・シビル、ヘルパーステーションほくと、ミリミリ、放 課後等デイサービスHARU箕面東、白島荘生活介護事業所「フレンドカラー」
児童福祉	0	
その他福祉	0	

分野	校区内活動数	活動内容	特記事項
生活支援	0		校区内で利用可: ふれあいホームサービス (社協)、みのおファミリー・サポート・ センター(シルバー人材センター)
移動販売	2	コーポラス箕面東集積所(コープの移動店 舗)	ほか、とくし丸 (関西スーパー) が校区内 で利用可
移送支援	1	オレンジゆずるタクシー	オレンジゆずるタクシー、社協運転ボラン ティア(福祉会)など市内全域で利用可
配食	0		校区内で利用できる配食業者あり
買い物	6	コノミヤ、コンビニ3、ドラッグストア2	
美容	3	訪問理容	

### ④豊川南小校区 地域情報シート

箕面市社協作成 2020.10月

Ī	小学校区	豊川南小	エリア	粟生新家1丁目、小野原西、小野原東
- 1	小子牧区	豆川荆小	エッノ	米江初多  日、小野原四、小野原果

100	4.00	ana.	244
抽	to⊽	25	44

地理的特徵	国道171号線より南側の地域。東側は茨木市と、南側は吹田市と隣接している。東西を走るバス通りは、整備された道路で幅も広いが、西に向かって緩やかな登り坂となるなど、斜面となっている箇所も多い。
住宅状況	校区内、北側は旧街道を中心とした昔からの地域で、そのほかは時代と共に開発されてきた地域である。そのため戸建てや分譲だと同時期に入居しているケースがほとんど。新しい住宅地には子育て世代も多く住んでいる。外国人宿舎があり、阪大関係の留学生や就労のため来日している外国人も多い。
生活環境 (商店・ 金融機関等)	スーパー3軒、コンビニ3軒、ドラッグストア3軒、また飲食店も多くある。ただこの多くが、バス通りに集中している。
交通 アクセス状況	北側の国道171号線と、校区中心の東西を走る道に阪急バスとオレンジゆずるバスのバス停がある。東側は大阪モノレール豊川駅も近い。北千里、千里中央、茨木、箕面や石橋方面へのアクセスが可能である。

基礎情報							2020. 3. 31現在
人口	13,791人	世帯数	6,246世帯	世帯平均員数	2.2人	自治会加入率	31.3%
人口 (0~14歳)	2,043人	人口 (15~64歳)	9, 310人	人口 (65歳~)	2,438人	人口 (75歳~)	1, 138人
人口割合 (0~14歳)	14. 8%	人口割合 (15~64歳)	67.5%	人口割合 (65歳~)	17. 7%	人口割合(75歳~)	8. 3%
出生率	0. 7%	死亡率	0. 7%	転入率	12.9%	転出率	14. 7%
一人暮高齡者人口	594人	高齢者のみ世帯	544世帯	要介護認定者数	239人	要支援認定者数	83人
身体障害者数	274人	知的障害者数	73人	精神障害者数	49人	外国人登録者数	930人

#### 公共施設など

種別	数	特記事項	
市民会館 (貸館)	3	小野原多世代地域交流センター、多文化交流センター、コミュニティーセンター豊川南 小会館	
保育施設	3	とよかわみなみ幼稚園、小野原学園、かいせいプチ保育園小野原園	
学校	2	川南小学校、関西学院千里国際中等部・高等部	
自治会館	6	イーストアベニュー小野原東自治会集会所、小野原自治会館、コープ野村北千里集会 所、新家自治会館、阪急小野原住宅自治会館、宮崎会館	
公園	21	松出公園、小野原西1号公園、小野原西3号公園、小野原西4号公園、小野原公園、小野原 南1号公園、小野原南2号公園、小野原南3号公園、小野原南4号公園、南の社公園、けや き公園、北の社公園、小野原東公園、仁鳥公園ほか	
その他施設	3	小野原図書館、箕面小野原郵便局、箕面警察署小野原交番	

#### 地域訪問対象者数 (2020.10月時点で把握しているもの)

属性	対象数	特記事項	
地域団体	17	地区福祉会、民生委員児童委員協議会、青少年を守る会、青少年指導員連絡協議会、豊川南小学校PTA、第四中学校PTA、コミュニティーセンター管理運営委員会、豊川南第1豊寿クラブ、豊川南第2豊寿クラブ、小野原豊寿友の会、おのはら東こども会、スマイルランドこども会、新家あおぞらこども会、保護司会、更生保護女性会、地区防災委員会、防犯委員会	
自治会・マン ション管理組合	43	自治会38 自治会なしマンション管理組合5	
サロン・コミカ フェ・自主G	26	高齢者関係19(福祉会サロン5、シニアクラブのサロン5、コミセンサークル8、ボランティアサロン1)、子ども関係5(福祉会サロン2、NP0のサロン2、ボランティアサロン)、外国人関係2(福祉会サロン1、ボランティアサロン1)	
ボランティアG・ NPO・当事者団体	11	ボランティアグループ5、NP0団体5、当事者団体1	
医療・福祉サー ビス事業者	37	医療関係26、高齢者関係9、障害者関係1、その他福祉1	
生活関連 事業者	9	スーパー3、コンビニ3、ドラッグストア3	

団体名	設置数	活動内容	特記事項
地区福祉会	1	福祉ボランティア (集いの場運営、ご近所 での見守り等)	役員11名、理事12名
民生委員児童委 員協議会	1	地域の身近な相談相手	民生委員·児童委員13名 主任児童委員1名
青少年を守る会	1	青少年の健全育成 (子どもの安全見守り隊、青色防犯パトロール)	
青少年指導員連 絡協議会	1	青少年健全育成のための環境づくり他(危) 険個所点検他)	6名
小学校PTA	1	父母と教師が協力し、地域や学校での児	豊川南小PTA
中学校PTA	1	童・生徒の成長と幸福のための活動	四中PTA
コミセン管理 運営委員会	1	コミュニティセンターの管理運営	
シニアクラブ	3	60歳以上のかたが加入できる自主組織	豊川南第1豊寿クラブ、豊川南第2豊寿クラブ、小野原豊寿友の会
こども会	3	近所に住む小学生が集まる組織	おのはら東こども会、スマイルランドこど も会、新家あおぞらこども会
保護司会	1	犯罪や非行をした人たちの再犯防止や犯罪 予防のための啓発活動	3名
更生保護女性会	1	女性の立場から、犯罪や非行をなくし過ち に陥った人たちの立ち直り支援	役員幹事3名
地区防災委員会	1	地域の防災体制づくり	
防犯委員会	1	地域防犯活動	

医療・福祉サービス事業者

種別	数	特記事項(施設種類、地域との共催事業等特筆される活動 等)
病院・診療所	10	
歯科医院	10	
薬局	6	
高齢福祉	9	介護付き有料老人ホーム2(アクティブライフ箕面、くらら箕面小野原)、住宅型有料老人ホーム2(スーパーコート箕面小野原、フォーユー箕面小野原)、サービス付き高齢者向け住宅1(ポルト・ローサ小野原)、デイサービス2、訪問介護2
障害福祉	1	重症心身障害児通所支援事業所
児童福祉	0	
その他福祉	1	介護タクシー

分野	校区内活動数	活動内容	特記事項
生活支援	0		
移動販売	0		コープ、とくし丸など市内全域で利用可
移送支援	1	アポロ介護タクシー	オレンジゆずるタクシー、社協運転ボラン ティア(福祉会)など市内全域で利用可
配食	0		校区内で利用できる配食業者あり
買い物	9	スーパー3、コンビニ3、ドラッグストア3	配達サービス等あり
美容	0		

### ⑤萱野東小校区 地域情報シート

箕面市社協作成 2020.10月

小学校区	<b>萱野東小</b> エリア 西宿、今宮、船場東、白島、石丸、外院
地域特性	
地理的特徵	南北に大変広い校区である。北側に山麓線、中心に国道171号線があり、校区の西側は新御堂筋。171号線から北側へは山に向かっての登り斜面で、171号線から南側も上がり斜面となっている箇所が多い。
住宅状況	山麓線より北は山手斜面を開発したマンションや戸建て住宅がある。校区の南は船場地区にあたり、近年マンション建設がすすんだ。全体に、昔からの住宅と、新しい住宅が固まって混在している地域が多い。 子育て世代も新築住宅を中心に居住している。
生活環境 (商店・ 金融機関等)	校区が南北に広いため、やや北側に位置する小学校と隣接する中学校へは、南側からだと30分以上かかる。スーパーは北側にマックスバリュー、中心部にイオン、東側に業務スーパー、南側に阪急オアシスかある。坂の多い地域でもあるため、足腰が少し弱ると買い物が困難となる。中心部にあるキューズモールは今年リニューアルオープンし、子育て世代を中心に人が集まる拠点となっている。
交通 アクセス状況	山麓線や171号線沿いを中心に阪急バスのバス停がある(千里中央、箕面駅、茨木方面)。今宮地区は隣が吹田市でバスもあるため、阪急北千里駅を利用している方も多い。現在新御堂筋で新駅建設中のため、完成すれば船場・西宿・白島周辺から千里中央・大阪方面へのアクセスが便利になる。

基礎情報	30-						2020. 3. 31現在
人口	13,420人	世帯数	6,029世帯	世帯平均員数	2. 2人	自治会加入率	42. 6%
人口 (0~14歳)	1,922人	人口 (15~64歳)	8,304人	人口 (65歳~)	3, 194人	人口 (75歳~)	1, 590人
人口割合 (0~14歳)	14. 3%	人口割合 (15~64歳)	61.9%	人口割合 (65歳~)	23. 8%	人口割合(75歳~)	11. 8%
出生率	0.8%	死亡率	0.8%	転入率	9. 5%	転出率	8.0%
一人暮高齡者人口	767人	高齢者のみ世帯	700世帯	要介護認定者数	362人	要支援認定者数	106人
身体障害者数	363人	知的障害者数	96人	精神障害者数	114人	外国人登録者数	255人

公共施設など

種別	数	特記事項			
市民会館 (貸館)	2	コミュニティーセンター萱野東会館、四中開放教室			
保育施設	6	常照寺隣保館保育園、もみじ保育園、つばさ学園、つくし保育園、トレジャーキッズいまみや保育園、トレジャーキッズにしじゅく保育園			
学校	3	<b>萱野東小学校、第四中学校、府立箕面支援学校</b>			
自治会館等	8	石丸自治会館、今宮会館、外院会館、青松園会館、西宿会館、西宿住宅南地域集会所、白 島会館、メゾン箕面青松園前集会所			
公園	36	白島公園、新船場東公園、今宮西公園、西宿 1 号公園、西宿 2 号公園、青松園 1 号公園、 青松園 2 号公園、外院北公園、外院公園ほか			
その他施設	3	第二総合運動場、箕面繊維団地郵便局、タッキー816みのおエフエム			

地域訪問対象者数 (2020.11月時点で把握しているもの)

地域副同对家有数	(2020.11月時景	で把握しているもの
属性	対象数	特記事項
地域団体	17	地区福祉会、民生委員児童委員協議会、青少年を守る会、青少年指導員連絡協議会、萱野東小学校PTA、第四中学校PTA、コミュニティセンター管理運営委員会、白島・白寿会、萱野南2今宮クラブ、カトレアこども会、白鳥こども会、ラッキーこども会、ドルフィンこども会、保護司会、更生保護女性会、地区防災委員会、防犯委員会
自治会・ マンション 管理組合	44	自治会32 (古くからある自治会と新しくできた自治会が混在) 自治会なしマンション管理組合12
サロン・ コミカフェ・ 自主G	54	高齢者7、子ども5、コミュニティカフェ5、コミセンサークル37
ボランティアG・ NPO・ 当事者団体	17	ボランティアグループとNPO団体
医療・福祉サービ ス事業者	80	うち、高齢者関係51
生活関連 事業者	16	スーパー4、コンビニ7、ドラッグストア2、移動販売、移送支援、配食業者

団体名	設置数	活動内容	特記事項
地区福祉会	1	福祉ボランティア (集いの場運営、ご近所 での見守り等)	役員10名、幹事20名
民生委員児童委員 協議会	1	地域の身近な相談相手	民生委員・児童委員13名 主任児童委員1名
青少年を守る会	1	青少年の健全育成 (子どもの安全見守り 隊、青色防犯パトロール)	
青少年指導員連絡 協議会	1	青少年健全育成のための環境づくり他(危 険個所点検他)	6名
小学校PTA	1	父母と教師が協力し、地域や学校での児	萱野東小PTA
中学校PTA	1	童・生徒の成長と幸福のための活動	四中PTA
コミセン管理 運営委員会	1	コミュニティセンターの管理運営	
シニアクラブ	2	60歳以上のかたが加入できる自主組織	白島・白寿会、萱野南2今宮クラブ
こども会	4	近所に住む小学生が集まる組織	カトレアこども会、白鳥こども会、ラッキー こども会、ドルフィンこども会
保護司会	1	犯罪や非行をした人たちの再犯防止や犯罪 予防のための啓発活動	2名
更生保護女性会	1	女性の立場から、犯罪や非行をなくし過ち に陥った人たちの立ち直り支援	役員幹事3名
地区防災委員会	1	地域の防災体制づくり	
防犯委員会	1	地域防犯活動	

種別	数	特記事項(施設種類、地域との共催事業等特筆される活動 等)
病院・診療所	12	
歯科医院	5	
薬局	4	
高齢福祉	51	うち、特別養護老人ホーム3 (白島荘、あかつき、箕面の郷)、介護老人保健施設 (アケソニア) 1、ケアハウス1 (箕面の郷)、認知症対応グループホーム2 (華の家、アケソニア)、サービス付き高齢者向け住宅1 (あすか)
障害福祉	7	通所施設1 (あっとほーむ)、障害児通所支援事業所6
児童福祉	0	
その他福祉	1	介護タクシー

分野	校区内活動数	活動内容	特記事項	
生活支援	0			
移動販売	1	コープ(西宿住宅)	コープ、とくし丸など市内全域で利用可	
移送支援	1	イング福祉タクシー	オレンジゆずるタクシー、社協運転ボランティア( 社会)など市内全域で利用可	
配食	1	ワタミの宅食		
買い物	13	スーパー4、コンビニ7、ドラッグストア2	配達サービス等あり	
美容	1	訪問理容		

### ⑥萱野北小校区 地域情報シート

箕面市社協作成 2020.10月

小学校区	萱野北小	エリア	如意谷1~5丁目
地域特性			
地理的特徴			。東西の傾斜の高低はあまりないが、南北は北側の山に向かっての登り斜 り北側の小学校周辺には池が多数点在している。
住宅状況			年~1990年代に開発された大型のマンション群が多数あり、南側は古くか とする住宅地である。
生活環境 (商店・ 金融機関等)	校区内には商品 等の大型店舗へ		まあるものの大型店舗等はないため、校区外のイオンやマックスバリュー る住民も多い。
交通 アクセス状況			が多い。公共交通機関では、阪急バス、オレンジゆずるバスが巡回してお 駅、千里中央駅へのアクセスが可能である。

基礎情報							2020. 3. 31 現在
人口	5, 447人	世帯数	2,634世帯	世帯平均員数	2.1人	自治会加入率	54. 9%
人口 (0~14歳)	562人	人口(15~64歳)	3, 178人	人口 (65歳~)	1,707人	人口 (75歳~)	840人
人口割合 (0~14歳)	10. 3%	人口割合 (15~64歳)	58. 4%	人口割合 (65歳~)	31. 3%	人口割合(75歳~)	15. 4%
出生率	0. 7%	死亡率	0. 6%	転入率	7. 4%	転出率	8. 2%
一人暮高齡者人口	479人	高齢者のみ世帯	376世帯	要介護認定者数	163人	要支援認定者数	52人
身体障害者数	182人	知的障害者数	49人	精神障害者数	38人	外国人登録者数	73人

公共施設など 特記事項 数 種別 市民会館 1 コミュニティセンター萱野北小会館 (貸館) 保育施設 1 認定こども園 アサンプション国際幼稚園 4 萱野北小学校、アサンプション国際小学校、アサンプション国際中学校・高等学校 学校 如意谷会館、如意谷住宅集会所、ルミナス箕面の森集会所(複数有)、ライオンズマンション集会所、椿ハイツ集会所 自治会館 7 山麓公園、如意谷公園、如意谷第1・2・3ちびっ子広場、山手公園、如意谷北公園 公園 その他施設 1 箕面警察署如意谷交番

属性	対象数	特記事項
地域団体	13	地区福祉会、民生委員児童委員協議会、青少年を守る会、青少年指導員連絡協議会、萱野北小学校PTA、第二中学校PTA、コミュニティセンター管理運営委員会、如意谷若竹クラブ、かやのきたこども会、保護司会、更生保護女性会、地区防災委員会、防犯委員会如意谷支部
自治会・ マンション 管理組合	9	如意谷第一自治会、如意谷第二自治会、箕面如意谷住宅自治会、ライオンズマンション 箕面自治会、ルミナス箕面の森自治会、第十新桜園自治会、椿ハイツ自治会、コスモ フォレスタ箕面、ヴェルビュ箕面山手
サロン・ コミカフェ・ 自主G	44	コミセン利用活動40 他、如意谷団地集会所、ルミナス集会所、山麓公園を利用
ボランティアG・ NPO・ 当事者団体	2	すきっぷ、しおんじ山の会
医療・福祉 サービス 事業者	11	医療関係4、高齢者関係3、障害者関係2、その他2
生活関連 事業者	3	スーパー1、コンビニ1、商店1

団体名	設置数	活動内容	特記事項
地区福祉会	1	福祉ボランティア (集いの場運営、ご近所 での見守り等)	役員13名、運営委員26名
民生委員児童委 員協議会	1	地域の身近な相談相手	民生委員·児童委員8名 主任児童委員1名
青少年を守る会	1	青少年の健全育成 (子どもの安全見守り隊、青色防犯パトロール)	
青少年指導員連 絡協議会	1	青少年健全育成のための環境づくり他(危) 険個所点検他)	6名
小学校PTA	1	父母と教師が協力し、地域や学校での児	萱野北小PTA
中学校PTA	1	童・生徒の成長と幸福のための活動	<b>_</b> фРТА
コミセン管理 運営委員会	1	コミュニティセンターの管理運営	
シニアクラブ	1	60歳以上のかたが加入できる自主組織	如意谷若竹クラブ
こども会	1	近所に住む小学生が集まる組織	かやのきたこども会
保護司会	1	犯罪や非行をした人たちの再犯防止や犯罪 予防のための啓発活動	2名
更生保護女性会	1	女性の立場から、犯罪や非行をなくし過ち に陥った人たちの立ち直り支援	役員幹事2名
地区防災委員会	1	地域の防災体制づくり	
防犯委員会	犯委員会 1 地域防犯活動		如意谷支部

医療・福祉サービス事業者

種別	数	特記事項(施設種類、地域との共催事業等特筆される活動 等)
病院・診療所	2	
歯科医院	1	
薬局	1	
高齢福祉	3	居宅1、デイサービス1、福祉用具1
障害福祉	2	通所施設1、放課後等デイサービス1
児童福祉	0	
その他福祉	2	介護タクシー(あいであい、ひかり)

生活関連事業者

分野	校区内活動数	活動内容	特記事項
生活支援	0		
移動販売	0		コープ、とくし丸など市内全域で利用可
移送支援	2		介護タクシー(あいであい、ひかり),オレンジ ゆずるタクシー、社協運転ボランティアなど市内 全域で利用可
配食	0		校区内で利用できる配食業者あり
買い物	3 スーパー	1、コンビニ1、商店1	配達サービス等あり
美容	0		

66

### ⑦萱野小校区 地域情報シート

箕面市社協作成 2020.10月

	小学校区	萱野小	エリア	萱野全部、	船場西1丁目、	2丁目1~17番	19~22番、	3丁目、	坊島全部	
--	------	-----	-----	-------	---------	----------	---------	------	------	--

Life	1-1	4+	J. cl.
地	198.	44	事

-E-%1711	
地理的特徵	国道171号線を挟んで南北に長い、171号線より南側は南上がりの斜面。校区中央には千里川が流れている。
住宅状況	坊島、萱野、芝と旧村があるが、その他の多くは昭和50年代に建設された住宅が多い。千里川を挟んで北側には戸建てが多く、南側にはマンションが多い。
生活環境 (商店・ 金融機関等)	校区内のスーパーは地域の西端にあり、隣接する萱野東校区や箕面駅前を利用することも多い。金融 機関についてもJA以外はATMが数台あるのみで、校区外を利用。
交通 アクセス状況	阪急箕面駅か北大阪急行千里中央駅へ出るかのどちらか。駅まで自転車利用も多く、他はバス利用。 今後北急延伸に伴い、萱野中央駅、箕面船場駅ができるため、アクセス状況も一変する。

基礎情報

2020.3.31現在

THE INTE							
人口	11,381人	世帯数	5,168世帯	世帯平均員数	2. 2人	自治会加入率	40.6%
人口 (0~14歳)	1,671人	人口 (15~64歳)	6,910人	人口(65歳~)	2,800人	人口 (75歳~)	1,463人
人口割合 (0~14歳)	14. 7%	人口割合 (15~64歳)	60. 7%	人口割合(65歳~)	24. 6%	人口割合(75歳~)	12.8%
出生率	0. 14%	死亡率	0. 68%	転入率	9. 4%	転出率	9. 4%
一人暮高齢者人口	727人	高齢者のみ世帯	639人	要介護認定者数	307人	要支援認定者数	103人
身体障害者数	350人	知的障害者数	110人	精神障害者数	90人	外国人登録者数	139人

公共施設など

種別	数	特記事項
市民会館 (貸館)	4	コミュニティセンター萱野小会館、みのおライフプラザ、らいとぴあ21、みのお市民活動センター
保育施設	6	かやの幼稚園、萱野保育所、稲保育所、紅葉夢保育園、みのおっこ保育園、さくらさ くみらい箕面
学校	2	萱野小学校、第二中学校
自治会館	4	坊島自治会館、芝会館、ハイムタウン箕面集会所、唐池会館
公園	18	唐池公園、杉谷公園、当対池公園、新船場南公園、南山東公園、向畑公園、坊の島公園ほか
その他施設	3	らいとぴあ21図書コーナー、中央子育て支援センター、萱野老人いこいの家

地域訪問対象者数 (2020,10月時点で把握しているもの)

D SX \LULU.	10万時点で指揮しているもの/	
対象数	特記事項	
16	地区福祉会、民生委員児童委員協議会、青少年を守る会、青少年指導員連絡協議会、 北小学校PTA、第二中学校PTA、コミュニティセンター管理運営委員会、坊島老友会、 唐池シニアクラブ、箕面船場西寿クラブ、保護司会、更生保護女性会、地区防災委員 会、防犯委員会如意谷支部、防犯委員会萱野支部、防犯委員会船場支部	
31	自治会27(古くからある自治会と新しくできた自治会が混在、また船場地区の大きな自治会や10軒未満の小さな自治会もあり、自治会に対する考えは様々)、自治会なしマンション管理組合4	
118	高齢者11 コミセンサークル52の他、市民活動センター、らいとぴあ21など活動場所があり、; 動グループが多い。	
48	暮らしづくりネットワーク北芝、市民活動フォーラムみのおの中間支援を担うNPO法人がある。	
61	医療機関28、高齢福祉サービス事業所19、障害サービス事業所14	
14	スーパー2、ドラックストア3、コンビニ7、訪問理容2	
	対象数 16 31 118 48	

団体名	設置数	活動内容	特記事項
地区福祉会	1	福祉ボランティア (集いの場運営、ご近所 での見守り等)	役員10名、幹事58名
民生委員児童委 員協議会	1	地域の身近な相談相手	民生委員・児童委員10名、 主任児童委員1名
青少年を守る会	1	青少年の健全育成 (子どもの安全見守り隊、青色防犯パトロール他)	
青少年指導員連 絡協議会	1	青少年健全育成のための環境づくり他(危) 険個所点検他)	6名
小学校PTA	1	父母と教師が協力し、地域や学校での児	萱野小PTA
中学校PTA	2	童・生徒の成長と幸福のための活動	二中PTA、五中PTA
コミセン管理運 営委員会	1	コミュニティーセンターの管理運営	役員12名、運営委員32名
シニアクラブ	3	60歳以上のかたが加入できる自主組織	坊島老友会、唐池シニアクラブ、箕面船場 西寿クラブ
こども会	0	近所に住む小学生が集まる組織	
保護司会	1	犯罪や非行をした人たちの再犯防止や犯罪 予防のための啓発活動	1名
更生保護女性会	1	女性の立場から、犯罪や非行をなくし過ち に陥った人たちの立ち直り支援	役員幹事2名
地区防災委員会	1	地域の防災体制づくり	
防犯委員会	3	地域の防犯活動	如意谷支部、萱野支部、船場支部
	i i		I .

医療・福祉サービス事業者

種別	数	特記事項	
病院・診療所	15		
歯科医院	6		
薬局	7		
高齢福祉		うち介護老人保健施設(市老健)、サービス付き高齢者住宅(レリーサポプラ、ナーシングホームさくら、シルバーリビング)、短期入所2、居宅2、デイサービス4、訪問介護3、訪問看護3、福祉用具 1	
障害福祉	14	通所施設4、放課後等デイサービス5、相談支援事業所1、ヘルパー4	
児童福祉	0		
その他福祉	0	0	

分野	校区内活動数	活動内容	特記事項
生活支援	2	YDP(やったるデイプロ!)、ふれあい ホームサービス	シルバー人材センターなど市内全域で利用 可
移動販売	0		コープ、とくし丸など市内全域で利用可
移送支援	0		オレンジゆずるタクシー、社協運転ボラン ティア(福祉会)など市内全域で利用可
配食	0		校区内で利用できる配食業者あり
買い物	12	スーパー2、ドラックストア3、コンビニ7	配達サービス等あり
美容	2	訪問理容	

### ⑧北小校区 地域情報シート

箕面市社協作成 2020.10月

Lik	1-44+	- 444-
T417	域特	中午

>C-% N II	
地理的特徵	箕面山の麓に位置し、全体に南下がりの斜面で、市道箕面今宮線より北側は急な斜面。
住宅状況	阪急箕面駅の東側に戸建ての住宅が広がる閑静な住宅地。建替えや代替わりで1軒の敷地に数軒の家が建つなど、新しい住宅も見られる。アクセスが良くマンションも増えている。校区の避難所は北 小学校ではなくメイプルホール。
生活環境 (商店・ 金融機関等)	駅近でスーパーや商店や金融機関、公共施設も多い。多くの人が利用するので駐車場、駐輪場も 整っている。
交通 アクセス状況	おおよそが阪急箕面駅から徒歩圏内だが、年齢を重ねると急勾配の坂があるため、徒歩や自転車による移動が困難。

基礎情報 2020. 3. 31現在

人口	6,063人	世帯数	2,964世帯	世帯平均員数	2.0人	自治会加入率	50. 7%
人口 (0~14歳)	659人	人口 (15~64歳)	3,456人	人口 (65歳~)	1,948人	人口 (75歳~)	1,080人
人口割合 (0~14歳)	10. 9%	人口割合 (15~64歳)	57.0%	人口割合 (65歳~)	32. 1%	人口割合 (75歳~)	17. 8%
出生率	0. 48%	死亡率	0. 96%	転入率	9. 7%	転出率	8. 2%
一人暮高齡者人口	654人	高齢者のみ世帯	404人	要介護認定者数	239人	要支援認定者数	99人
身体障害者数	204人	知的障害者数	49人	精神障害者数	80人	外国人登録者数	91人

公共施設など

種別	数	特記事項			
市民会館 (貸館)	4	コミュニティセンター北小会館、メイプルホール、中央生涯学習センター、箕面文 化・交流センター			
保育施設	2	か幼稚園、箕面保育園			
学校	1	小学校			
自治会館	3	<b>连面会館、平尾会館、地蔵会館</b>			
公園	7	芦原、箕面北、宝寺山、松尾山東、楓、桜並木西側、箕面本通り			
その他施設	10	箕面市消防本部、箕面警察署、箕面浄水場、箕面交通観光案内所、中央図書館、郷土 資料館、青少年指導センター、箕面郵便局、箕面市防犯委員会、箕面交通安全協会			

地域訪問対象者数 (2020.10月時点で把握しているもの)

属性	対象数	特記事項
地域団体	16	地区福祉会、民生委員児童委員協議会、青少年を守る会、青少年指導員連絡協議会、 北小学校PTA、第二中学校PTA、コミュニティセンター管理運営委員会、箕面北第1敬 友会、第2敬友会、第3敬友会、北小校区こども会、保護司会、更生保護女性会、地区 防災委員会、防犯委員会箕面駅前支部、防犯委員会如意谷支部
自治会・ マンション 管理組合	13	自治会5(古くからある自治会と新しくできたマンションの自治会)、自治会なしマ ンション管理組合8
サロン・ コミカフェ・ 自主G	74	高齢者3、子ども1 コミセン、中央生涯学習センター、箕面文化・交流センターがあり、他の校区に比べ 自主グループは多め
ボランティアG・ NPO・ 当事者団体	22	北小校区に限らない市内全域対象のグループが多い
医療・福祉 サーピス 事業者	44	医療機関30、他校区に比べ医療機関は多め、高齢・障害ともに事業所数は少ない。
生活関連 事業者	7	スーパー3、ドラックストア1、コンビニ2、訪問理容1

団体名	設置数	活動内容	特記事項
地区福祉会	1	福祉ボランティア(集いの場運営、ご近所 での見守り等)	役員11名、幹事54名
民生委員児童委 員協議会	1	地域の身近な相談相手	民生委員・児童委員9名、 主任児童委員1名
青少年を守る会	1	青少年の健全育成(子どもの安全見守り 隊、青色防犯パトロール他)	
青少年指導員連 絡協議会	1	青少年健全育成のための環境づくり他(危 険個所点検他)	6名
小学校PTA	1	父母と教師が協力し、地域や学校での児	北小PTA
中学校PTA	1	童・生徒の成長と幸福のための活動	二中PTA
コミセン管理運 営委員会	1	コミュニティーセンターの管理運営	役員9名、運営委員29名
シニアクラブ	3	60歳以上のかたが加入できる自主組織	箕面北第1、第2、第3敬友会
こども会	1	近所に住む小学生が集まる組織	北小校区こども会
保護司会	1	犯罪や非行をした人たちの再犯防止や犯罪 予防のための啓発活動	2名
更生保護女性会	1	女性の立場から、犯罪や非行をなくし過ち に陥った人たちの立ち直り支援	役員幹事1名
地区防災委員会	1	地域の防災体制づくり	
防犯委員会	2	地域の防犯活動	箕面駅前支部、如意谷支部
			I .

医療・福祉サービス事業者

種別	数	特記事項			
病院・診療所	14				
歯科医院	10				
薬局	6				
高齢福祉	9	宅2、デイサービス3、訪問介護2、訪問看護2			
障害福祉	5	所施設1、放課後デイサービス3、訪問介護1			
児童福祉	0				
その他福祉	0				

生活関連事業者

分野	校区内活動数	活動内容	特記事項
生活支援	0		ふれあいホームサービス、シルバー人材センターなど市内全域で利用可
移動販売	0		コープ、とくし丸など市内全域で利用可
移送支援	0		オレンジゆずるタクシー、社協運転ボラン ティア(福祉会)など市内全域で利用可
配食	0		校区内で利用できる配食業者あり
買い物	6	スーパー3、ドラックストア1、コンビニ2	配達サービス等あり
美容	1	訪問理容	

70

### 9中小校区 地域情報シート

箕面市社協作成 2020.10月

小学校区	中小	エリア	牧落3丁目・4丁目、西小路3丁目、 2丁目18番・23番~、3丁目12番~	箕面4丁目7番~9番、	稲全部、	船場西
------	----	-----	--	-------------	------	-----

### 地域特性

地理的特徴	国道171号線を挟んで南北に長い。171号線より南側は南上がりの斜面。校区中央には千里川が流れている。
住宅状況	北端には箕面団地、南端にはコンドミニアムと大きな集合住宅がある。マンションもあるが、戸建て住宅が多い。稲自治会エリアは古くからの住宅地。また、小学校周辺は建築後40年ほど経過している住宅が多く、高齢者も多い。一方、稲5丁目を中心に新しく造成された地域もあり、新築住宅には子育て世代が多く住居している。
生活環境 (商店・ 金融機関等)	校区の北側に小学校があり、南端から通学するには30分程度かかる。校区内のスーパーは2軒だが、 隣接校区のスーパーに買い物に行くかたも多い。
交通 アクセス状況	阪急牧落駅か北大阪急行千里中央へ出るかのどちらか。場所によっては、駅まで徒歩(15分〜20分)でいけるところもあるが、徒歩困難なエリアはバス利用が必須。今後、北急延伸に伴い、新しく駅ができると船場エリアは駅が近くなる。

基礎情報 2020. 3. 31現在

人口	10,707人	世帯数	4,728世帯	世帯平均員数	2. 3人	自治会加入率	40. 3%
人口 (0~14歳)	1,621人	人口 (15~64歳)	6,387人	人口 (65歳~)	2,699人	人口 (75歳~)	1,431人
人口割合 (0~14歳)	15. 1%	人口割合 (15~64歳)	59. 7%	人口割合 (65歳~)	25. 2%	人口割合 (75歳~)	13. 4%
出生率	0. 53%	死亡率	1.0%	転入率	7. 9%	転出率	7. 6%
一人暮高齡者人口	813人	高齢者のみ世帯	547世帯	要介護認定者数	305人	要支援認定者数	124人
身体障害者数	320人	知的障害者数	112人	精神障害者数	81人	外国人登録者数	78人

### 公共施設など

種別	数	特記事項		
市民会館 (貸館)	3	コミュニティセンター中小会館、稲ふれあいセンター、稲スポーツセンター		
保育施設	0			
学校	3	中小学校、第五中学校、府立箕面高等学校		
自治会館	3	<b>『公民館、稲東会館、コンドミニアム千里中央集会所</b>		
公園	14	西脇公園、ナギノキ公園、滝ケ花公園ほか		
その他施設	7	男女協働参画ルーム、箕面市上下水道局、箕面商工会議所、箕面市シルバー人材センター、障害者福祉センターささゆり園、教育センター、萱野南図書館		

地域訪問対象者数 (2020.10月時点で把握しているもの)

属性	対象数	10月時点で把握しているもの) 特記事項
地域団体		地区福祉会、民生委員児童委員協議会、青少年を守る会、青少年指導員連絡協議会、中小学校PTA、第五中学校PTA、コミュニティセンター管理運営委員会、稲朗友クラブ、四季彩クラブ、さなえこども会、東こばとこども会、西小路東こども会、保護司会、更生保護女性会、地区防災委員会、防犯委員会(牧落支部、如意谷支部)
自治会・ マンション 管理組合	41	自治会30(古くからある自治会と新しくできた自治会が混在。250世帯を超える大きな自治会と、5~15世帯ほどの小さな自治会に二極化)、自治会なしマンション管理組合11
サロン・ コミカフェ・ 自主G	29	高齢者3、子ども2、その他2 コミセンサークル22
ボランティアG・ NPO・ 当事者団体	22	ボランティアグループとNPO団体17、当事者団体5。障害者福祉センターささゆり園を 拠点に活動している団体が多いことから、障害に関する活動グループが多い。
医療・福祉 サービス 事業者	81	うち高齢者関係35、障害者関係23。他校区に比べ、高齢・障害ともに事業所数は多い。
生活関連 事業者	15	スーパー2(ライフ、ドン・キホーテ)、コンピニ5、訪問理容3

団体名	設置数	活動内容	特記事項
地区福祉会	1	福祉ボランティア (集いの場運営、ご近所 での見守り等)	役員15名
民生委員児童委 員協議会	1	地域の身近な相談相手	民生委員・児童委員12名、 主任児童委員1名
青少年を守る会	1	青少年の健全育成 (子どもの安全見守り 隊、青色防犯パトロール他)	
青少年指導員連 絡協議会	1	青少年健全育成のための環境づくり他(危) 険個所点検他)	6名
小学校PTA	1	父母と教師が協力し、地域や学校での児	中小PTA
中学校PTA	1	童・生徒の成長と幸福のための活動	五中PTA
コミセン管理運 営委員会	1	コミュニティーセンターの管理運営	
老人クラブ	2	60歳以上のかたが加入できる自主組織	稲朗友クラブ、四季彩クラブ
こども会	3	近所に住む小学生が集まる組織	さなえ、東こばと、西小路東
保護司会	1	犯罪や非行をした人たちの再犯防止や犯罪 予防のための啓発活動	3名
更生保護女性会	1	女性の立場から、犯罪や非行をなくし過ち に陥った人たちの立ち直り支援	役員幹事3名
地区防災委員会	1	地域の防災体制づくり	
防犯委員会	2	地域の防犯活動	牧落支部、如意谷支部

### 医療・福祉サービス事業者

種別	数	特記事項
病院・診療所	8	True 7- A
歯科医院	6	
薬局	7	
高齢福祉 35		うち特別養護老人ホーム(紅葉の郷、ゆずの郷)、養護老人ホーム(ゆずの郷)、サービス付き高齢者住宅(あすなる、そんぽの家)、住宅型有料老人ホーム(グランダ)、認知症対応グループホーム(あそびりクラブ、あすなる)、短期入所2、街かどデイハウス、居宅7、デイサービス7、訪問介護10
障害福祉	23	短期入所1、通所施設7、放課後等デイサービス4、相談支援事業所5、訪問介護6
児童福祉	0	
その他福祉	2	介護タクシー (オレンジゆずるタクシー、みもざ)

分野	校区内活動数	活動内容	特記事項	
生活支援	2	シルバー人材センター、結みのおお助け隊	ふれあいホームサービス、YDP、コープむつみ 会など市内全域で利用可	
移動販売	1	そんぽの家 (コープ)	コープ、とくし丸など市内全域で利用可	
移送支援	1	オレンジゆずるタクシー、みもざ	オレンジゆずるタクシー、社協運転ボラン ティア(福祉会)など市内全域で利用可	
配食	0		市内全域で利用できる配食業者あり	
買い物	7	スーパー2(ライフ、ドン・キホーテ)、コンビニ5	配達サービス等あり	
美容	3	訪問理容		

### ⑩箕面小校区 地域情報シート

箕面市社協作成 2020.12月

小学校区	箕面小	エリア	箕面6丁目5番(40(箕面ハイツに限る)、41、73)、西小路1丁目1番・3番・6番・7番・10番~、2丁目、4丁目~、桜4丁目1番~7番・10番・12番~、5丁目1番~10番、11番(1~3、24~)・12番(8~25)・13番・18番・20番(1~10、37~)・21番~、牧落1丁目、2丁目、5丁目~、百楽荘全部
------	-----	-----	---

地域特性

地理的特徵	校区内は大半が平地だが、国道171号線南側の牧落5丁目付近は南上がりの斜面になっており、急な 坂道も存在する。なお、ハザードマップによると水害や土砂災害の心配は少ない校区。
住宅状況	全体としては戸建て住宅が多いが、大小様々な集合住宅も数多く存在している。高齢化が進んでいる 団地や地域がある一方、新旧の住宅が混在していたり、世代交代が見られる地域もある。
生活環境 (商店・ 金融機関等)	校区東には箕面市役所本庁があり、箕面中央線、国道171号線、府道豊亀線沿いには飲食店、ドラッグストア、その他様々な業種の店舗がある。日常生活を送るには非常に便利な校区の一つ。
交通 アクセス状況	校区内に牧落駅、校区外だがすぐ北には箕面駅があり、大阪方面へのアクセスが便利。校区中央には 箕面中央線、南には国道171号線が通り、阪急バスやゆずるバスが走っており交通の便は良い。

基礎情報 2020. 3. 31現在

44 MC 11 11X							
人口	10, 170人	世帯数	4,717世帯	世帯平均員数	2.2人	自治会加入率	52.9%
人口 (0~14歳)	1,309人	人口 (15~64歳)	5,973人	人口 (65歳~)	2,888人	人口 (75歳~)	1,518人
人口割合 (0~14歳)	12. 9%	人口割合(15~64歳)	58. 7%	人口割合(65歳~)	28. 4%	人口割合 (75歳~)	14.9%
出生率	0. 56%	死亡率	0. 93%	転入率	18. 1%	転出率	8. 5%
一人暮高齢者人口	842人	高齢者のみ世帯	583人	要介護認定者数	334人	要支援認定者数	125人
身体障害者数	335人	知的障害者数	66人	精神障害者数	117人	外国人登録者数	131人

公共施設など

種別	数特記事項		
市民会館 (貸館)	2	コミュニティセンター箕面小会館、グリーンホール(市民会館)	
保育施設	2	認定こども園牧落幼稚園、箕面ポッポ保育園	
学校	1	1 箕面小学校	
自治会館	9	桜会館、西小路会館、百楽会館、牧落自治会館ほか	
公園	9	西小路公園、牧落公園、牧落南公園、大通庵公園ほか	
その他施設	3	3 箕面市役所、消費生活センター、箕面警察署牧落交番	

地域の主な社会資源(2020.10月時点で把握しているもの)

属性	対象数	特記事項
地域団体	18	地区福祉会、民生委員児童委員協議会、青少年を守る会、青少年指導員連絡協議会、 箕面小学校PTA、第一中学校PTA、コミュニティセンター管理運営委員会、箕面中1西小路クラブ、箕面中2牧落クラブ、箕面中3福寿会、箕面中四百楽クラブ、さくらんぼこども会、百楽荘こども会、かきの木こども会、保護司会、更生保護女性会、地区防災委員会、防犯委員会牧落支部
自治会・ マンション 管理組合	22	自治会20(複数の自治会で連合自治会として活動している地域もある。校区をまたぐ 自治会は4自治会あり)、自治会なしマンション管理組合2
サロン・ コミカフェ・ 自主G	33	高齢者4、子ども1、コミセンサークル28
ボランティアG・ NPO・ 当事者団体	6	ボランティアグループとNPO団体:6
医療・福祉 サービス 事業者	48	医療機関12、高齢者関係26、障害者関係10
生活関連 事業者	6	スーパー2、コンビニ2、ドラッグストア1、訪問理容1

団体名	設置数	活動内容	特記事項
地区福祉会	1	福祉ボランティア(集いの場運営、ご近所 での見守り等)	役員13名、運営委員67名
民生委員児童委 員協議会	1	地域の身近な相談相手	民生委員・児童委員14名、 主任児童委員1名
青少年を守る会	1	青少年の健全育成 (子どもの安全見守り 隊、青色防犯パトロール他)	
青少年指導員連 絡協議会	1	青少年健全育成のための環境づくり他(危) 険個所点検他)	5名
小学校PTA	1	保護者と教師が協力し、地域や学校での児	箕面小PTA
中学校PTA	1		一中PTA
コミセン管理運 営委員会	1	コミュニティーセンターの管理運営	
シニアクラブ	4	60歳以上のかたが加入できる自主組織	箕面中1西小路クラブ、箕面中2牧落クラブ、箕面中3福寿会、箕面中四百楽クラブ
こども会	3	近所に住む小学生が集まる組織	さくらんぼ、百楽荘、かきの木
保護司会	1	犯罪や非行をした人たちの再犯防止や犯罪 予防のための啓発活動	2名
更生保護女性会	1	女性の立場から、犯罪や非行をなくし過ち に陥った人たちの立ち直り支援	役員幹事5名
地区防災委員会	1	地域の防災体制づくり	
防犯委員会	1	地域の防犯活動	牧落支部

医療・福祉サービス事業者

種別	数	特記事項
病院・診療所	7	
歯科医院	4	
薬局	1	
高齢福祉	26	居宅6、訪問サービス11、通所サービス5、入所施設4
障害福祉	10	居宅4、通所施設6
児童福祉	0	
その他福祉	0	

生活関連事業者

分野	校区内活動数	活動内容	特記事項	
生活支援	0		ふれあいホームサービス(社協)、シル バー人材センターなど市内全域で利用可	
移動販売	0		コープ、とくし丸など市内全域で利用可	
移送支援	0		オレンジゆずるタクシー、社協運転ボラン ティア(福祉会)など市内全域で利用可	
配食	0		校区内で利用できる配食業者あり	
買い物	5	スーパー2、コンビニ2、ドラッグストア1		
美容	1	訪問理容1		

74

### ①西小校区 地域情報シート

箕面市社協作成 2020.12月

小学校区	西小	エリア	箕面1丁目1番~5番、6丁目7番~、7丁目~、西小路1丁目2番・4番・5番・8番・9番、桜1丁目、2丁目、3丁目2番~、桜ケ丘1丁目、新稲全部、箕面公園全部、温泉町全部
------	----	-----	--

### 地域特性

-0.341417	
地理的特徵	校区北には山がそびえ、箕面公園がある。山麓線より北側は特に坂道が多く、北東には小高い住宅地が広がっている。東には箕面川、西の池田市との境には石澄川が流れ、農地も多い自然豊かな校区。
住宅状況	箕面駅周辺には大きな集合住宅や団地もあるが、全体的には戸建て住宅が多い。古くからの住宅地で高齢化が進んでいる地域もあるが、校区全体で見ると子育て世帯も多く、様々な世代が居住している。
生活環境 (商店・ 金融機関等)	スーパーやドラッグストア等の商業施設は校区南の中央線沿いに集中している。校区の東や北の居住者は、隣接校区まで買い物に出るかたが多い。スポーツ施設が多いのも特徴。
交通 アクセス状況	大阪方面へのアクセスは、阪急箕面駅・牧落駅が最寄りだが、西側に居住しているかたは、阪急桜井駅や阪急バスを使って石橋駅を利用するかたもいる。駅までの移動手段は徒歩、自転車、阪急バスやゆずるバスの利用と居住場所により様々。車がないと移動が不便な地域もある。

基礎情報 2020. 3. 31現在 人口 13. 728人 世帯数 5. 866世帯 世帯平均員数 2. 3人 自治会加入率 53. 0%

人口	13,728人	世帯数	5,866世帯	世帯平均員数	2. 3人	自治会加入率	53.0%
人口 (0~14歳)	1,992人	人口 (15~64歳)	7,886人	人口 (65歳~)	3,850人	人口 (75歳~)	2,124人
人口割合 (0~14歳)	14. 5%	人口割合 (15~64歳)	57. 4%	人口割合(65歳~)	28. 0%	人口割合 (75歳~)	15.5%
出生率	0. 59%	死亡率	1. 13%	転入率	7. 3%	転出率	7. 1%
一人暮高齡者人口	1020人	高齢者のみ世帯	899人	要介護認定者数	521人	要支援認定者数	171人
身体障害者数	424人	知的障害者数	99人	精神障害者数	105人	外国人登録者数	140人

公共施設など

種別	数	特記事項			
市民会館 (貸館)	1	コミュニティセンター西小会館			
保育施設	3	みすず学園桜ケ丘保育園、桜保育園、幼稚園型認定こども園箕面学園附属幼稚園			
学校	5	西小学校、第一中学校、箕面学園高等学校、大阪青山大学、大阪青山短期大学			
自治会館	3	稲会館、府営箕面住宅集会所、箕面桜府営住宅集会所			
公園	21	箕面西公園、新稲西公園、阿比太公園、桜北公園、新稲北公園ほか			
その他施設	6	第一総合運動場、市民体育館(スカイアリーナ)、青少年教学の森野外活動センター、箕面公園管理事務所、箕面公園昆虫館、箕面警察署桜ヶ丘交番			

地域の主な社会資源(2020.10月時点で把握しているもの)

属性	対象数	特記事項			
地域団体	21	地区福祉会、民生委員児童委員協議会、青少年を守る会、青少年指導員連絡協議会、西小学校PIA、第一中学校PIA、コミュニティセンター管理運営委員会、箕面西一親和会、箕面西四徳尾会、平和台老人クラブ福寿会、徳尾こども会、東桜ヶ丘こども会、アントこども会、太陽こども会、新稲こども会、保護司会、更生保護女性会、地区防災委員会、防犯委員会箕面駅前支部、防犯委員会新稲支部、防犯委員会桜ヶ丘支部			
自治会・ マンション 管理組合	52	自治会41(古くからある自治会、新しくできた自治会、自治会の規模も500世帯の大きな自治会から10世帯未満の小さな自治会まで様々。校区をまたぐ自治会も5自治会あり)、自治会なしマンション管理組合11			
サロン・ コミカフェ・ 自主G	38	高齢者サロン13、子どもサロン1、コミセンサークル24			
ポランティアG・ NPO・ 当事者団体	5	ボランティアグループ:5 いずれも箕面公園や山の環境保全等、自然の中での活動を目的としたグループ			
医療・福祉 サービス 事業者	44	医療機関12、高齡者関係24、障害者関係8			
生活関連 事業者	8	スーパー1、コンビニ3、ドラッグストア2、訪問理容1、訪問美容1			

団体名	設置数	活動内容	特記事項
地区福祉会	1	福祉ボランティア (集いの場運営、ご近所 での見守り等)	役員27名、幹事113名
民生委員児童委 員協議会	1	地域の身近な相談相手	民生委員・児童委員18名、 主任児童委員1名
青少年を守る会	1	青少年の健全育成 (子どもの安全見守り 隊、青色防犯パトロール他)	
青少年指導員連 絡協議会	1	青少年健全育成のための環境づくり他(危) 険個所点検他)	6名
小学校PTA	1	保護者と教師が協力し、地域や学校での児	西小PTA
中学校PTA	1	童・生徒の成長と幸福のための活動	—фРТА
コミセン管理運 営委員会	1	コミュニティーセンターの管理運営	
シニアクラブ	3	60歳以上のかたが加入できる自主組織	箕面西一親和会、箕面西四徳尾会、平和台 老人クラブ福寿会
こども会	5	近所に住む小学生が集まる組織	徳尾、東桜ヶ丘、アント、太陽、新稲
保護司会	1	犯罪や非行をした人たちの再犯防止や犯罪 予防のための啓発活動	4名
更生保護女性会	1	女性の立場から、犯罪や非行をなくし過ち に陥った人たちの立ち直り支援	役員幹事3名
地区防災委員会	1	地域の防災体制づくり	
防犯委員会	3	地域の防犯活動	箕面駅前支部、新稲支部、桜ケ丘支部
		I .	

医療・福祉サービス事業者

種別	数	特記事項			
病院・診療所	7				
歯科医院	2				
薬局	3				
高齢福祉	24	居宅5、訪問サービス8、通所サービス4、入所施設5、福祉用具2			
障害福祉	8	居宅5、通所サービス2、入所施設1			
児童福祉	0				
その他福祉	0				

生活悶浦惠業者

分野	校区内活動数	活動内容	特記事項
生活支援	0		ふれあいホームサービス(社協)、シル バー人材センターなど市内全域で利用可
移動販売	0		コープ、とくし丸など市内全域で利用可
移送支援	0		オレンジゆずるタクシー、社協運転ボラン ティア(福祉会)など市内全域で利用可
配食	0		校区内で利用できる配食業者あり
買い物	6	スーパー1、コンビニ3、ドラッグストア2	
美容	2	訪問理容1、訪問美容1	

### 12南小校区 地域情報シート

箕面市社協作成 2020.10月

小学校区	南小	エリア	半町1丁目1番・9番(1~22、44~)・10番(17~43)・11番~、2丁目14番(41~57)・20番・21番・22番(1~17)、3丁目1番・2番・10番・11番・12番(4~36)・13番(1~5、46~)、桜3丁目1番、4丁目8番・9番・11番、5丁目11番(4~23)、5丁目12番(1~7、26~)・14番~17番・19番・20番(11~36)、6丁目~、桜井全部、桜ケ丘2丁目~
------	----	-----	--

地域特性

7673CTTT	
地理的特徵	国道171号線以南(桜井3丁目)は急勾配の坂が多い。
住宅状況	マンションはいくつかあるが、戸建てが多い。人口に対する高齢化率は、65歳以上の割合が 21%以上を占めているため超高齢社会と言える。
生活環境 (商店・ 金融機関等)	エリアに中学校がなく、小学校はエリアの北東隅に位置する。そのため災害時の避難場所としては、南小以外の学校の方が早く避難できる地域がある。また北東から南西に一級河川の箕面川が流れているため、災害規模によっては安全な避難ルートを考える必要がある。
交通 アクセス状況	エリアに阪急電車箕面線の桜井駅が含まれており、牧落駅も近い。また幹線道路や国道につな がる道がいくつもあるため、車や自転車での交通の便も良い。

基礎情報 2020. 3. 31現在

人口	10,050人	世帯数	4,394世帯	世帯平均員数	2. 3人	自治会加入率	68. 2%
人口 (0~14歳)	1,384人	人口 (15~64歳)	5,663人	人口 (65歳~)	3,003人	人口 (75歳~)	1,573人
人口割合 (0~14歳)	13. 8%	人口割合 (15~64歳)	56. 3%	人口割合 (65歳~)	29.9%	人口割合(75歳~)	15. 7%
出生率	0. 71%	死亡率	1. 09%	転入率	7.8%	転出率	6.6%
一人暮高齢者人口	877人	高齢者のみ世帯	639人	要介護認定者数	373人	要支援認定者数	150人
身体障害者数	300人	知的障害者数	86人	精神障害者数	80人	外国人登録者数	68人

公共施設など

種別	数	特記事項
市民会館 (貸館)	3	コミュニティセンター南小会館、桜ケ丘老人いこいの家、ヒューマンズプラザ (桜ヶ丘人権文化センター
保育施設	5	桜ヶ丘保育所、若葉幼稚園、箕面桜ケ丘幼稚園、アートチャイルドケア箕面、 フェアリーキッズ保育園桜井
学校	1	南小学校
自治会館	2	丘の家、鹿島テラハウス箕面コミュニティホール
公園	10	止々呂渕公園、桜井公園、桜南公園ほか
その他施設	5	桜ヶ丘図書館、箕面警察署桜井交番、大阪北部農業協同組合本店、大阪北部農業協同組合箕面支店、北部・西南高齢者くらしサポート

地域の主な社会資源(2020.10月時点で把握しているもの)

属性	対象数	特記事項			
地域団体	16	地区福祉会、民生委員児童委員協議会、青少年を守る会、青少年指導員連絡社会、南小学校PTA、第三中学校PTA、コミュニティセンター管理運営委員会、第南一もみじクラブ、箕面南二むつみ会、箕面南三のぞみシニア会、南小校区でも会、保護司会、更生保護女性会、地区防災委員会、防犯委員会桜井支部、原委員会桜ヶ丘支部			
自治会・ マンション 管理組合	37	自治会33(役員の高齢化、後継者の不足、自治会加入率の低下、ゴミの出し方のマナー、などは共通課題)、自治会なしマンション管理組合4			
サロン・ コミカフェ・ 自主G	8	高齢者7、子ども1			
ボランティアG・ NPO・ 当事者団体	7				
医療・福祉 サービス 事業者	50	医療機関30、高齡者関係13、障害者関係7。			
生活関連 事業者	8	スーパー3、コンビニ3、ドラッグストア1、訪問理容1			

団体名	設置数	活動内容	特記事項
地区福祉会	1	福祉ボランティア(集いの場運営、ご近 所での見守り等)	役員6名
民生委員児童委 員協議会	1	地域の身近な相談相手	民生委員・児童委員16名、 主任児童委員1名
青少年を守る会	1	青少年の健全育成(子どもの安全見守り 隊、青色防犯パトロール他)	
青少年指導員連 絡協議会	1	青少年健全育成のための環境づくり他 (危険個所点検他)	6名
小学校PTA	1	父母と教師が協力し、地域や学校での児	南小PTA
中学校PTA	1	童・生徒の成長と幸福のための活動	<b>≡</b> ФРТА
コミセン管理運 営委員会	1	コミュニティーセンターの管理運営	
シニアクラブ	3	60歳以上のかたが加入できる自主組織	箕面南一もみじクラブ、箕面南二むつ み会、箕面南三のぞみシニア会
こども会	1	近所に住む小学生が集まる組織	南小校区こども会
保護司会	1	犯罪や非行をした人たちの再犯防止や犯 罪予防のための啓発活動	2名
更生保護女性会	1	女性の立場から、犯罪や非行をなくし過 ちに陥った人たちの立ち直り支援	役員幹事3名
地区防災委員会	1	地域の防災体制づくり	
防犯委員会	2	地域の防犯活動	桜井支部、桜ケ丘支部

医療・福祉サービス事業者

種別	数	特記事項
病院・診療所	14	
歯科医院	7	
薬局	9	
高齢福祉	12	居宅3、訪問サービス6、通所サービス1、入所施設1、福祉用具1
障害福祉	7	居宅1、通所施設6
児童福祉	0	
その他福祉	1	介護タクシー(アイリス)

分野	校区内活動数	活動内容	特記事項
生活支援	0		ふれあいホームサービス、シルバー人 材センターなど市内全域で利用可
移動販売	0		コープ、とくし丸など市内全域で利用 可
移送支援	0		オレンジゆずるタクシー、社協運転ボ ランティア(福祉会)など市内全域で 利用可
配食	0		校区内で利用できる配食業者あり
買い物	7	スーパー3、コンビニ3、ドラッグストア1	
美容	1	訪問理容	

### ③西南小校区 地域情報シート

箕面市社協作成 2021.1月

					箕面市	社協作成 20	21.1月
小学校区	西南小	エリア	1番~13番・	5〜8番・9番 (1 14番 (1〜40、1 3番〜9番・12 、瀬川全部	58~) • 15番	~19番・22番	(18~) - 23
地域特性							
地理的特徵	る。国道171-	号線より南側	(半町4丁目、	比西側は池田市 瀬川4丁目、 くしている部	瀬川5丁目)に		
住宅状況		より南側は大		面川が流れて ンが多く、国			
生活環境 (商店・ 金融機関 等)	道橋が設置さ齢者くらしサ	れている。国	道171号線よ 公共施設がも	D中央に位置し り北側には生 5り、国道171 などがある。	涯学習センタ	一、消防署、	北部西南高
交通アクセス状況	移動には、公 ずるバスが通 移動がしにく	]配があるため 負らず、タクシ い地形となっ	)に高齢者や目 /一も聖苑やE っている。	では距離があ 自転車では難し 国南図書館があ	ンい部分がある ある南北の道路	る。またエリア 各しか通らない こめ、どちらの	アの南側はゆいため、横の の駅までも距
基礎情報	791					20	020. 3. 31現在
人口	12,905人	世帯数	5.856世帯	世帯平均員数	2. 2人	自治会加入率	50.0%
人口 (0~14歳)		人口 (15~64歳)		人口 (65歳~)		人口 (75歳~)	1,840人
人口割合 (0~14歳)		人口割合(15~64歳)		人口割合 (65歳~)		人口割合 (75歳~)	14. 3%
出生率		死亡率	***************************************	転入率		転出率	9.0%
一人暮高齢者人口		高齢者のみ世帯		要介護認定者数		要支援認定者数	
身体障害者数		知的障害者数	13.24 (2.10.10.20.41.30.5)	精神障害者数		外国人登録者数	204人
公共施設など		<b>从出口十口</b> 日 秋	007	THITHELD	1217	八百八五叶日从	2047
種別	数			特記	事項		
市民会館	**			17 00	ナス		
(貸館)		8 8	. The same	可小会館、西南	9生涯学習セン	ノター	
保育施設		せいなん幼稚		園			
学校	2	西南小学校、	第三中学校	2000 (0.000 0.000 0.000	. 950.		
自治会館	5	瀬川会館、日 川地域集会施	商岩井箕面/  設南瀬川会寛	ヽイツレンタル 官	レルーム、半田	∫会館、むつ∂	み会館、南瀬
公園	13	瀬川西公園.	瀬川南公園.	瀬川中公園、	瀬川北公園は	まか	
7 Based	10			・ワークセン	12000-1000-1000-1000-1000-1000-1000-100		コートフティ
その他施設	7		薬場・斎場)	、西南老人ラ			
		0.10月時点で	把握している				
属性	対象数			特記	事項		
地域団体	15	議会、西南小会、箕面南四	学校PTA、第 日なごみ会、筆	查委員協議会、 三中学校PTA、 连面南朗友会、 資会、防犯委員	コミュニティ西南小校区	マセンター管理 とども会、保証	里運営委員 舊司会、更生
自治会・マ ンション管 理組合	36	自治会26、自	治会なしマン	<b>ノション管理</b> 組	且合10		
サロン・コミ カェ・自主G	3	ふれあいの集	い、ささゆり	J会、子育で+	トロン		

ボランティアG・ NPO・当事者団体	9	「ワッハッハ」クラブ、JSBニュースト・リバー・石澄川花の散歩道の会、 TAMASA、自然とあそぼグ・チョキ・ル 委員会、みのお子どもの遊びを考える	、みのお川を美しくする会、みのお パ、チャレンジ・ジャグリング実行
医療・福祉 サービス事業者	35	医療機関9、高齢者関係19、障害者関	係7
生活関連事業者	7	ビクトリー箕面店、フレスコ桜井店、 マート箕面半町店、ファミリーマー 店、箕面瀬川郵便局	
地域団体			
団体名	設置数	活動内容	特記事項
地区福祉会	1	福祉ボランティア(集いの場運営、 ご近所での見守り等)	役員6名
民生委員児童委 員協議会	1	地域の身近な相談相手	民生委員・児童委員14名、 主任児童委員1名
青少年を 守る会	1	青少年の健全育成(子どもの安全見 守り隊、青色防犯パトロール他)	役員8名
青少年指導員連 絡協議会	1	青少年健全育成のための環境づくり 他(危険個所点検他)	6名
小学校PTA	1	保護者と教師が協力し、地域や学校 での児童・生徒の成長と幸福のため	西南小PTA
中学校PTA	1	の活動	三中PTA
コミセン管理運 営委員会	1	コミュニティーセンターの管理運営	役員6名
シニア クラブ	2	60歳以上のかたが加入できる自主組 織	箕面南四なごみ会、箕面南朗友会
こども会	1	近所に住む小学生が集まる組織	西南小校区こども会
保護司会	1	犯罪や非行をした人たちの再犯防止 や犯罪予防のための啓発活動	4名
更生保護女性会	1	女性の立場から、犯罪や非行をなくし 過ちに陥った人たちの立ち直り支援	役員幹事3名
地区防災委員会	1	地域の防災体制づくり	
防犯委員会		地域の防犯活動	桜井支部、瀬川支部
医療・福祉サービ			
種別	数	特記	事項
病院・診療所	5		
歯科医院	3		
薬局	1		
高齢福祉		居宅2、訪問サービス5、通所サービス	ス4、入所施設4、福祉用具1
障害福祉		居宅3、通所施設4	
その他福祉	3	介護タクシー	
生活関連事業者	-		
分野	校区内活動数	活動内容	特記事項
生活支援	0		シルバー人材センター
移送支援	0		オレンジゆずるタクシー、社協運転 ボランティア(福祉会)など市内全 域で利用可
買い物	6	スーパー2、コンビニ3、ドラッグス トア1	配達サービス等あり

### ⑭止々呂美小校区 地域情報シート

箕面市社協作成 2020.11月

小学校区 止々呂美小 エリア 上止々呂美、下止々呂美、森町北、森町中、森町西、森町南
--

Lil	域	44	44
7417	Tol		47
7114	3-28.	न ज	17

地場付注	
地理的特徵	箕面市北部丘陵に位置し、豊かな自然を享受できる地域。山間部にある農村地域の止々呂美エリアと、平成19年(2007年)から宅地開発された森町エリアが共存する。
住宅状況	人口は、止々呂美エリア2,100人、森町エリア2,700人で大差はない。65歳以上の高齢者割合は、森町エリア9.6%に対して、止々呂美エリアが22.3%となっており、止々呂美エリアの高齢化が進んでいる。森町エリアはこれからも宅地開発が予定されており、子育て世帯の割合が増えるために高齢化率は下がっていく。
生活環境 (商店・ 金融機関等)	令和元年(2019年)に24時間営業の大型商業施設がオープンし、とどろみの森学園の増改築なども進んでいる。しかし図書館や郵便局が簡易的なものであったり、消防署がない現状に、住民からは公共施設の整備を望む声が上がっている。また、止々呂美エリアのこども会がなくなったために、廃品回収が行われていない現状がある。
交通 アクセス状況	阪急バスの運行はあるがオレンジゆずるバスの運行がないため、車を所有していないと買い物などの 移動が不便。小中一貫校のとどろみの森学園は在校生徒800名を越える規模で、さらに増改築をして生 徒数が増える予定。生徒の登校にかかる時間は、止々呂美エリアから徒歩約20分、森町北エリアから 約30分、開発中の森町南の奥からは更に時間がかかるものと予想される。

基礎情報 2020. 3. 31現在

Total III							the first state of the state of
人口	4,832人	世帯数	1,529世帯	世帯平均員数	3.2人	自治会加入率	91.1%
人口 (0~14歳)	1,634人	人口 (15~64歳)	2,850人	人口 (65歳~)	348人	人口 (75歳~)	154人
人口割合 (0~14歳)	33. 8%	人口割合 (15~64歳)	59.0%	人口割合 (65歳~)	7. 2%	人口割合 (75歳~)	3. 2%
出生率	1. 90%	死亡率	0. 37%	転入率	14.4%	転出率	3.5%
一人暮高齢者人口	75人	高齢者のみ世帯	85人	要介護認定者数	47人	要支援認定者数	7人
身体障害者数	62人	知的障害者数	37人	精神障害者数	11人	外国人登録者数	41人

公共施設など

種別	数	特記事項
市民会館(貸館)	0	
保育施設	2	森町友星保育園、みすず学園森町こども園(認定こども園)
学校	2	止々呂美小学校、止々呂美中学校(とどろみの森学園)
自治会館	3	上止々呂美自治会館、下止々呂美自治会館、森町自治会館
公園	14	止々呂美1号公園、森町南1号公園、森の丘公園、里山公園、森林公園ほか
その他施設		止々呂美支所、スノーピーク箕面自然館、スノーピーク箕面キャンプフィールド、箕面 警察署止々呂美駐在所

地域の主な社会資源(2020.10月時点で把握しているもの)

属性	対象数	特記事項
地域団体	15	地区福祉会、民生委員児童委員協議会、青少年を守る会、青少年指導員連絡協議会、 止々呂美小学校PTA、止々呂美中学校PTA、止々呂美クラブ、森町シニア「結の会」、ネ イチャーこども会、ピースこども会、保護司会、更生保護女性会、地区防災委員会、防 犯委員会止々呂美支部、止々呂美婦人会
自治会・マン ション管理組合	4	上止々呂美自治会、下止々呂美自治会、箕面森町自治会、箕面森町ピースガーデン自治 会
サロン・コミカ フェ・自主G	1	いきいきサロン
ボランティアG・ NPO・当事者団体	1	(特活) とどろみの森クラブ
医療・福祉サービス 事業者	8	医療機関4、高齢者関係4
生活関連事業者	3	スーパーセンタートライアル、セブンイレブン箕面森町南店、ファミリーマート箕面森 町店

団体名	設置数	活動内容	特記事項
地区福祉会	1	福祉ボランティア(集いの場運営、ご近所 での見守り等)	役員6名
民生委員児童委 員協議会	1	地域の身近な相談相手	民生委員・児童委員3名、 主任児童委員1名
青少年を守る会	1	青少年の健全育成 (子どもの安全見守り 隊、青色防犯パトロール他)	
青少年指導員連 絡協議会	1	青少年健全育成のための環境づくり他(危) 険個所点検他)	6名
小学校PTA	1	父母と教師が協力し、地域や学校での児	止々呂美小PTA
中学校PTA	1	童・生徒の成長と幸福のための活動	止々呂美中PTA
シニアクラブ	2	60歳以上のかたが加入できる自主組織	止々呂美クラブ、森町シニア「結の会」
こども会	2	近所に住む小学生が集まる組織	ネイチャー子ども会、ピース子ども会
保護司会	1	犯罪や非行をした人たちの再犯防止や犯罪 予防のための啓発活動	1名
更生保護女性会	1	女性の立場から、犯罪や非行をなくし過ち に陥った人たちの立ち直り支援	役員幹事2名
地区防災委員会	1	地域の防災体制づくり	
防犯委員会	1	地域の防犯活動	止々呂美支部

医療・福祉サービス事業者

区源 田山ノ	レハデ末で	
種別	数	特記事項
病院・診療所	3	照葉の里箕面病院、しんまちさかいクリニック、中川クリニックしんまち診療所
歯科医院	1	箕面森町吉田歯科クリニック
薬局	2	えがおDe薬局箕面森町店、スーパーセンタートライアル箕面森町店
高齢福祉	3	居宅1、デイサービス1、入所1
障害福祉	0	
児童福祉	0	
その他福祉	1	介護タクシー

牛活関連事業者

分野	校区内活動数	活動内容	特記事項
生活支援	0		ふれあいホームサービス、シルバー人材センターなど市内全域で利用可
移動販売	0		コープ、とくし丸など市内全域で利用可
移送支援	1	介護タクシーやまふじ	オレンジゆずるタクシー、社協運転ボラン ティア(福祉会)など市内全域で利用可
配食	0		校区内で利用できる配食業者あり
買い物	3	スーパーセンタートライアル、セブンイレブ ン箕面森町南店、ファミリーマート箕面森町 店	
美容	0		

### (2)校区別地域検討会結果

### ①彩都の丘小校区(アンケート実施)

実施期間:令和3年4月21日~令和3年5月14日対象者 : 彩都の丘小校区地域検討会参加申込者 20名

回収数 : 11 名から回答あり(回収率 55.0%)

#### <髙齢者について>

項目	回答内容
課題	<ul> <li>・新しい町で全て転入者。特に65歳くらいの方がどこに住んでいるのか情報がない。</li> <li>・生活に必要な施設までの距離、坂の上り下り、バス便の少なさから、免許返納後や足腰の弱い高齢者の生活が不便。</li> <li>・子どもとの二世帯であるが昼間独居状態。車がないため外出先がなく足が弱る。</li> <li>・若い街のためシニア世代が閉じこもりがちでシニア同士のコミュニティが育ちづらい。</li> <li>・シニアクラブなど彩都からは遠くて参加できない。</li> <li>・高齢者世帯の見守りを地域で取り組んでいく活動が重要だが、住民による声掛けや訪問だけでは困難。救急/病院(入退院状況)、インフラサービス企業(水道・電気・ガスの使用状況)から地域へ情報連携の仕組みづくりが必要。</li> </ul>
校区の 目指す姿	・高齢者世帯でも安心して生活できる。 ・年を重ねても色々なことにチャレンジ・活動できる場、情報に接する場がある。(趣味、ボラン ティア、サロン、健康、教養・・・)。
取り組み	<ul><li>・コミュニティセンターの活用。</li><li>・大阪大学跡地の活用 (スポーツ、講師を招いての学習、趣味の会、カフェなど)。</li><li>・足腰を強くする「歩こう会」などのサークルをつくる。</li></ul>

### <子どもについて>

項目	回答内容
	・近隣で大規模工事により、工事関係車両の往来が増加しており、子どもたちの安全が心配。
	・他人の子どもたちへの注意や見守りが薄まっているように思う。
課題	・市に現在2箇所ある常設のおひさまルームは彩都からは遠く、小さな子どもを連れて継続的に
床起	は通いにくい。
	・せせらぎ橋の下やなないろ公園のフリーフォールは子どもが落下して救急搬送された事例もあ
	り危険。
	・登下校時に地域で見守りができる、安心・安全な校区。
校区の	・大人が子どもにルールを注意できる、それを周りも許容できるお互いに見守れるような社会。
目指す姿	・子どもたちが生き生きと想像力などを使い遊べるような場所があれば。
	(例 茨木市側彩都にある「あさぎ里山公園」)
	・小中一貫校の良さと住民との協働の場が提案できれば、地域見守り隊や声かけ隊、子どもの成
取り組み	長を街が見守るおせっかい隊。
	・彩都内を流れる川周辺のスペースを使った遊び場づくり。
	・おひさまルームのような施設の常設。

### <防災・防犯について>

項目	回答内容		
課題	<ul><li>・大阪大学跡地の廃墟化(侵入者、不法廃棄、建造物老朽化、野生動物、雑草繁茂等)による治安、生活環境悪化が心配。</li><li>・校区内に商業施設等多くの人の集まる場がなく、交通安全運動や地域安全運動等の広報活動場所がない。</li></ul>		
取り組み	・学園運動会やお祭りの場等イベントを活用した交通安全や地域安全等の広報。(自転車カゴカバー、交通安全グッズ、チラシ等の配布)		

### <つながりについて>

項目	回答内容
課題	・コロナ禍で地域イベントが軒並み中止となっており、親睦が図れない。
	・住民も若い人が多く、高齢者住宅も数多くあり、それぞれの垣根があり、つなぎ力が少ない。
校区の	・彩都の丘学園を卒業した子どもたちが、「自分たちの故郷」として再び彩都に住んで子育てをし
校区の   目指す姿	たいと思うような土地になってほしい。
	・一代限りのニュータウンではなく、持続的に人が住み続ける・住み続けたいと感じる校区。
	・地域に根ざし、地域全体を巻き込んだ活動で地域愛を創り出すしかないと思う。お祭りやイベ
取り組み	ントの開催は、地域を一つにするために有効。
	・散歩コースに「お楽しみ」や「お得」を入れて住民同士をつなげる。

### <地域活動について>

項目	回答内容
課題	・子育て世代は地域の活動に力を向ける余裕がない人が多く地域活動に従事する人が限られてい
	る。(特にコミュニティーセンターの窓口業務)で恒常的な人不足が課題。
	・地域の活動や PTA 活動に対して距離を置く人が多いように感じる。
	・地域活動には参加しないが権利や利益の確保だけは主張する人も多く、実際に活動している
	人々のやる気を削ぐ場面も少なからずある。
校区の	・たくさんの人が少しずつでも地域活動に関われるような地域。
	・地域活動が閉鎖的でなく、一人一人の負担がそれほど大きくなく、広く住民の方の意見が反映
目指す姿	されたり、また楽しんでできるようなものになれば。
	・地域団体の活動を知らせるニュースレターの発行。
取り組み	・地域にある諸団体(青少年を守る会、自治会、地区防災委員会、民生委員児童委員、青少年指
	導員、コミュニティーセンター管理運営委員会、PTA、防犯委員会、まつり実行委員会、ボラ
	ンティアサークルなど)の横のつながりの場づくり。

### <その他>

回答内容	
<交通>	
・オレンジゆずるバスの路線がない。・大通りの横断歩道が少ない。	
・夜間の車の暴走による騒音や迷惑駐車、ごみ投棄の問題が頻発している。	
・道路の走行車両のスピードがかなり速い。(地域住民だけでなく、周辺住民の通り抜け、宅配業	
者、工事業者、タクシー等)	
<公共施設等>	
・ポスト、病院、交番がない。・学校の教室不足が懸念。	
・コミュニティセンターの利用制限(営利企業の制限、広報活動の制限等)	
・ 道路網、交通網の整理	
・車がなくても生活しやすい環境。コンビニ(生活必需品、ATM、宅配、証明書、納税等)、ポ	
スト、ゆずるバス、飲食店…。	
・コミュニティセンターの充実。	
・遊歩道の整備と大型施設の建設終了による環境・安全の保全。	
<交通>	
・ゆずるバスの校区内乗り入れ。・・夜間等のパトロールの強化。	
・ゴミ拾い、駐禁の通報など、都度の対策ではなく予防のための仕組み作り。	
<公共施設等>	
・ポスト設置の要望。 ・交番設置の要望。 ・コミュニティセンターの利用制限の緩和。	
・コンビニ、飲食店等は大阪大学跡地活用でも検討してほしい。	
・緑地帯の整備、維持管理を行う。(茨木市側の緑地帯はきれいな花々、木々に覆われている)	

### ②豊川北小校区(アンケート実施)

実施期間: 令和3年4月21日~令和3年5月14日 対象者 : 豊川北小校区地域検討会参加申込者 47名 回収数 : 19名から回答あり(回収率 40.4%)

### <高齢者について>

項目	回答内容		
課題	・坂や段差が多く買い物やゴミ出し、通院が大変。		
	・自家用車がないと生活上の移動が大変。		
	・ゆずるバスの運行回数が少なく、箕面駅や市立病院付近の公共施設に通いにくい。		
	・コロナ禍で特に独居の方に関して、人との関わりがますます減少し、ストレス増加や運動不足、		
	認知症にならないか心配。		
	・電話や手紙、メモ等で対応はしているものの、コロナ禍で気軽に声を掛けるのもためらう情勢。		
校区の	・老若男女が安心して生活できる校区。・買い物難民対策がされている校区。		
目指す姿	・声を掛け合い、支え合える校区。・身近に通える場所が多い校区。		
	・地域のスーパー3 か所(コノミヤ・アプロ・マルヤス)の協力も得て、食材のお届け隊など、		
そのための 取り組み	地域での取り組みをつくる。		
	・事業者等が移動販売を実施する。・足が悪い人には、送迎ができるようにする。		
	・見守りの必要な人が気軽に立ち寄れる場所を作る。		
	(公園等で曜日・時間等を決めるのでもよい)		

### <子どもについて>

項目	回答内容
	・子どもと地域との関わりが少ない。
	・子どもの遊び場が少ない。道路で遊ぶと危ないし、ボール遊びがトラブルになることも。
	・居住者の高齢化で子どもが少なくなり、近所の公園で遊んでいる姿を見かけなく
課題	なってきている。
	・中学生の父母など、顔も名前も知らない人が多い。
	・小学校や中学校の教育が塾通いを前提にしている。
	・子どもと地域の関わりが活発にあり、子どもが大人の姿を見て進路を考えられる
	校区。
校区の	・子ども達にとって身近に安心して話が出来る大人が増えていく校区。
目指す姿	・子どもからお年寄りまで、多世代が気軽に交流出来る風通しの良い校区。
	・若い世帯が多くなる校区。
	・収入の少ない家庭の子どもでも十分な教育が受けられる校区。
	・顔見知りの大人を増やすために、登校時の挨拶運動(下校時の見守り、声掛け運動等の活動)
	を幅広い団体で実施する。
	・ボランティア活動が普通のことになるように、教育の現場でボランティア活動を取り入れる。
	また、できたら教育的に評価されることも必要。
	(アメリカなど、大学入学の評価に関わるところもある)
そのための	・公園で子ども達が快適に遊べるように遊具等を整備する。
取り組み	・公立校の予算を増やし、先生の人数と能力を増強する。高い学力の子どもが育つ環境であれば
	若い世代の流入も期待できる。
	・全市の PTA 連合でアンケートシステムを作る。学校からの一斉配信メール等を利用し、低コ
	ストなものにする。PTA 会員の意見が市政に反映されやすくなる。
	・職業体験セミナーの顧問をしているので、その経験が子どもをとりまく進路の問題について何
	かの役に立てればと思う。

項目	回答内容
課題	・豊川北小校区は地域別に三世代が分かれてしまっている。 ・近場に日中の居場所、ふれあいの場がない。坂道が多く、離れているため、校区サロンに容易に参加できない。また、会場が狭く、非バリアフリーな環境の場合も多い。 ・近隣関係の希薄化により、福祉活動へのボランティア確保が大変。 ・高齢者とのつながりが作りにくい。 ・昔のように交流がないため、住人を知らない。 ・大阪大学の移転により、朝の散歩スポットがなくなった。今後跡地がどうなるのか解らないが、高齢者、子ども達が楽しく安心安全に集える場所(散歩道など)を残してほしいと思う。 ・地区内で活動する各団体は、行政との関係は強いが、団体どうしの関係が弱い。 ・福祉ニーズの掘り起こしや、サービス利用への繋ぎが不十分。
校区の 目指す姿	<ul> <li>・各年代が交流出来る場所やイベントを行う場所のある校区。</li> <li>・身近なところに日中の居場所、ふれあいの場がある校区。</li> <li>(各種サロン・一時保育・子ども食堂・自治会活動など)</li> <li>・各世代がいきいきと生活できる、明るい校区。</li> <li>・子どもからお年寄りまで、多世代が気軽に交流出来る風通しの良い校区。</li> <li>・近くの公園でベンチに座り、世間話ができる環境のある校区。</li> <li>・野菜作りを通じて、自然の中で高齢者、子ども達と色々な話をしながら、野菜の収穫、焼き芋、スイカ割り、野菜の名前当て等のイベントを行える校区。</li> <li>・ご近所福祉が常態化された校区。</li> <li>・地域全体で高齢者や子どもを見守る校区。</li> </ul>
そのための取り組み	<ul> <li>・年齢を越えた交流の一つとして「哲学カフェ※」に取り組む。</li> <li>・小さなコミュニティを作り近所で集まれるようにし、次第に大きくしていく。</li> <li>・大阪大学跡地や自然を活かした地域おこし事業を実施する。</li> <li>・福祉人材の発掘・育成。</li> <li>・個別の自治会への活動支援。</li> <li>・気楽に立ち寄れる場所をつくる。</li> <li>・「喫茶とよきた」のようなスタイルのサロンや集いの場をもっと増やす。</li> <li>・住民各々が持っているスキルを活かした活動の場所を提供する。</li> <li>(例)元教師の子ども達への学習支援、元運動選手の公園でのレッスン、年配向け減塩食や子ども向けの料理教室の開催</li> <li>・TAS(豊北アフタースクール)の様に多世代が交流できる会を増やす。できれば、高齢者の参加者が固定にならないような仕組み作りで実施する。</li> <li>・誰もが通る時に気軽に立ち寄り、見守れるベンチがあると安心。</li> <li>・仲間や他団体との「協議」ではなく、自然に集まり自然に楽しめ、四季の野菜を収穫する中で「次は何をしよう」と、皆で話し合いができる場所をつくる。</li> <li>・ITを活用した地区内のボランティア団体の情報拠点、たまり場の設置。サロンコーナー、印刷機も常設。</li> <li>・新たな活動拠点の整備。特に校区中心部の、コミュニティセンターや生涯学習センター等から離れた住宅集積エリアに必要。</li> <li>・子どもの行事や敬老会などに多くの方に参加してもらい、現状や課題を認識してもらう。</li> </ul>

### <地域活動について>

項目	回答内容	
課題	<ul> <li>・旧来からある自治会の住民の高齢化に伴う役員、福祉活動ボランティアのなり手不足。</li> <li>・UR の団地、粟生間谷西、東の戸建て、旧村など、各エリアの特色や強み弱みがある。今後の地域ごとの人々をどう巻き込み、どう取り組んでいくかが課題。</li> <li>・地域内の自治会の立ち上げ。</li> <li>・活動のアイデアは出るが担い手不足があり、実現するまでに至らないことがある。</li> </ul>	
校区の 目指す姿	・豊川北小校区は、福祉活動が積極的に行われている。コロナ禍に打ち勝ちより一層の活動がある校区になってほしい。 ・ボランティア活動の意識付けのある校区。一方的な「する側」「される側」ではなく、だれもできることをし、地域と関わるということが習慣となっている校区。 ・そのエリアの自治会館などのコミュニティがうまく活用されている校区。 ・新たな人の活動参加がある校区。 ・日常生活に密着した自治会活動や、地域課題への積極的な取り組みがある校区。 ・地域活動をしている各団体がさかんに協力・連携している校区。 ・住民一人一人が、無理をせず、自分のできる範囲で地域の役割が担える校区。	
そのための 取り組み	<ul> <li>・若い世代がもっと積極的に福祉活動等のボランティア活動に参加してほしい。</li> <li>・高齢者が幼い子どもと接する機会をもち生きていく上での元気と希望をもらえるような場づくり。</li> <li>・高齢者自身の意識改革。たとえば、生きがいをもつために趣味や興味のある分野の学習や勉強をする。また、自分で行えることは他人に頼らないという意欲や、努力を保つ。</li> <li>・食材のお届け隊や、寄り合い食堂や喫茶サロンなどの食事の提供場所を通じて地域力の向上を図る。</li> <li>・各活動の担い手が、無理なく、長期に参加しやすい体制をつくる。</li> <li>・自治会等の地域団体の組織や活動を強化する。</li> <li>・住民の意識向上に向けた働きかけ・活動提起をする。</li> <li>・他府県や他市の先進的事例があればその勉強の場をつくる。</li> </ul>	

### <防災・防犯について>

項目	回答内容	
課題	・緊急時に地震や火災などの避難が不安。 ・避難行動要支援者や高齢独居の人を多数把握しているが災害時に支援できるか不安。	

項目	回答内容	
課題	・将来的に、親と離れて暮らしている子どもたち等が、実家を引き継いでくれるか 心配。	
校区の 目指す姿	・川合・山之口地区の農地、緑の保全がされ豊かな自然環境がいつまでも残る校区。	

## ③東小校区(検討会実施)

日時:令和2年11月15日(日)10:00~12:00

場所:東小体育館 参加者:53名

テーマ	目指す姿 ~こんな校区でありたい~	取り組み内容 ~そのためにできること~
高齢者	高齢者が地域活動・ボランティア 活動にいつまでも元気で活躍でき る校区	<ul><li>・子育てサロンのスタッフにシニア世代のつながりのある方を誘う。</li><li>・高齢者対象のボランティア教室・説明会の開催。</li><li>・登下校見守りパトロールに参加してもらう。</li><li>・健康維持のために体操教室を開催する。</li></ul>
	困った時、どこに連絡すれば良い かすぐ分かる	・高齢者向けの具体的な項目やサービスの受け方をわかりやすく説明した リストの作成。 →自治会回覧では受動的で情報が伝わりにくいため、個別に渡す。
子ども	子どもたちの登下校に不安がない 校区、知らない人でも挨拶や声か けをし合える、おせっかいが見え る校区	<ul> <li>・子ども安全パトロールの継続・強化。 →不審者と認識されず、子どもたちにとって"知っている大人"を増やしていく。</li> <li>・今ある見守り活動の強化。</li> <li>・子どもに挨拶の大切さを伝える。</li> <li>→祭りの中でボランティアを募ることとセットに、催しをする。</li> </ul>
障害者	障害者が移動しやすい校区	<ul><li>・段差をなくす。</li><li>・歩きやすい道、タクシーやバスが無料や定額になる。</li></ul>
つながり	若者が増え、つながる校区 若い世代が地域活動に参加する校 区	・箕面東高校、第六中学校、近隣大学を巻き込む・交流する。(地域行事への参加、箕面東高校ダンス部に児童の指導を依頼、親世代も参加できる仕掛けづくり) ・ボランティア活動を内申点に含んでもらう。 ・学校のボランティア学習に地域住民が参加する。 ・地域のお祭りの中でボランティアを募集する。 ・子育てサロン、子どもの見守りボランティアの中で接点をつくる。 ・LINEなどのSNSを活用することで若い世代が参加しやすい環境をつくる。 ・イメージを変えるための団体名(自治会、地区福祉会)の見直し。
	男性が地域活動に参加・活躍でき る校区	
	生活上で少しの手助けが欲しい時に申し出る場所がある校区	・東小地区福祉会が生活支援のボランティアサービスを行う →買い物サポート、ゴミ出し支援等 ・近所すぎると頼みづらい、少し離れた人がサポートしてくれる仕組み ・外出支援として手軽な移動手段の開発 → (例) 電動車いすの貸し出し ・ポイント制やたすけあい券などお互い頼みやすい工夫をする ・社協ふれあいホームサービスの活用、PR

テーマ	目指す姿	取り組み内容
	~こんな校区でありたい~	~そのためにできること~
つながり	高齢者、子ども、若者、障害者や 生活に不自由な人が分け隔てなく 集えるカフェや場所、機会があ る。 多世代交流の活発な町 子ども達がのびのび遊べる広場が ある	・ふれあいルームエミー(東小地区拠点)の活用・開放。 ・自宅を開放してくれる人を探す。 ・自治会館等の貸館の開放や要件緩和。 ・学校の空き教室やグランドの活用。 ・外にくつろげるベンチを設置。 ・各サロンの活用。PR、参加したくなる企画。 ・スギ薬局(西側)へ交流場所の提供を依頼(場所提供の申し出有) ・つどいの場に誰でもできるゲーム(ダーツ、将棋等)を置く。 ・地域の写真の展示会を開催。 ・関電学園へ場所開放の協力依頼。 ・障がい者も地域活動に誘う。 ・昔あそびや読み聞かせ等を通じ、高齢者とこどもの接点を作る。 ・老人クラブへの参加からつながりを作り、他の場にも参加してもらう導線に。
	新たに引っ越してきた人も打ち解 けて暮らしやすい地域	・公園や開かれた場所での集いの場を増やす。
	ラジオ体操のグループが増える	・朝に参加しにくい人のために昼のラジオ体操グループをつくる
地域活動	活動疲れしない地域活動ができる校区	・福祉会、老人クラブ、自治会が情報交換を密にし、重複部分は整理・統合し負担を小さくする。(自治会活動の見直し、地域団体のイベントの統合、NPO法人との連携、PTA中心の活動を取り入れる等) ・団体同士の横のつながりを増やす。
	ひまわり薬局の活用	・見守りパトロールの継続のため、ひまわり薬局が募集の窓口になる ・ふれあいホームサービス(地域版)の受付をひまわり薬局で行う
防災・防犯	安否確認が簡単にできる。孤独 死、孤立死のない校区	・一声訪問員や民生委員、青少年を守る会など、見守り活動をしている団体の横のつながりを増やす。(見守りに関する連絡会等を行う) ・自治会は回覧板を回す時に安否確認を意識的に実施する。
	災害に強い地域・発災しても対応 できる地域	・住宅地近くへの防災ステーションの設置。 ・災害時の情報のとりまとめルールの確立と周知。 ・避難手段の確保、マンション上階から安全に降りられる手段の設置。
その他	車がなくても不便を感じない地域 (高齢者が車を手放しやすいよう に)	・バスの本数やルートの増、マイクロバスの新設に向けた働きかけ。
	公園やトイレが清潔で危険がな く、緑豊か	・ボランティアで協力できる人を募る。
	コンビニやスーパー、病院が近くにある。	
	買い物困難者のために、配達シス テムや移動販売が充実する	



# ④豊川南小校区(検討会実施)

日時: 令和2年11月8日(日) 13:30~15:30

場所:総合保健福祉センター 大会議室 参加者:34名

テーマ	目指す姿	取り組み内容
•	~こんな校区でありたい~	~そのためにできること~
高齢者	住民同士顔が見え、気さくに話が できる地域	・歩ける範囲でサークル活動などを通じた交流を行う。 ・近所で声掛けする。 ・井戸端会議も重要。 ・自治会単位の集いの場づくり。 ・男性が参加しやすいコミュニティをつくる。
子ども	子どもたちが安全に暮らせ、働き ながら子育てしやすい地域	<ul> <li>・家の前を通るこどもに挨拶する。 ・登下校時に見守る人がいる。</li> <li>・少人数のこども会をたくさん作る。</li> <li>・芋ほりやハイキングなどを通じたこどもと高齢者の交流。</li> <li>・放課後の居場所づくり。</li> <li>・学校が休みの日に、年齢に関係なく活動できる場(囲碁、将棋、ペタンクなど)をつくる。</li> </ul>
	中高生が地域で活躍できる場がある	・中高生が参加しやすい場面をつくる(祭り、ボランティア、荷物運び)。 ・いろいろな風習や考え方を知り、グローバルな見方を身に着ける。
障害者	重い障害のある人もその家族も、 当たり前の地域生活が送れる校区	・障害の事業所が地域検討会のような会議に積極的に参加していく。事業所が地域団体と一緒に取り組める催しものをしていきたい。
つながり	立場の違う人同士でもコミュニ ケーションがとりやすい地域。 「一人ではない」と思える地域。	<ul> <li>・地域イベントへの参加呼びかけ。</li> <li>・既存の地域活動を活用して新しい人を巻き込んでいく(たけのこ掘り、歴史巡りウォーキング等)。</li> <li>・地区福祉会のあいあいサロンは、外国の方と企画から考えていく。</li> <li>・障害のある方やその家族にも今後メンバーに入ってもらうのはどうか。</li> <li>・常に誰かがいる場所(対話の場)を増やす。</li> <li>・世代を超えて誰でも話をすることができる場所をつくる。</li> </ul>
	文化的背景を意識しなくてもよくなる校区	<ul> <li>・アートを通じて団体や住民同士のつながりをつくる(様々な国籍の人がいるなかで、ダンス、音楽、絵画など、地域のイベントの際に色々な文化や作品を通じて交流を深める)。共同で大きな絵を描く、歌や踊り。</li> <li>・春日神社を活用する(神社に許可をとり、音楽やアートのイベントを開催出来たら盛り上がる)。</li> </ul>
	地域団体同士の横のつながり	・地区福祉会広報誌の充実。 ・地区福祉会理事の構成団体を広げる。 ・自治会同士の交流。 ・定期的な情報交換の機会、語り合える場づくり。 ・各団体が参加するメーリングリストを作る。 ・各団体が一つの場所に集まるWEBサイト(校区内の地域団体が情報発信・共有するポータルサイト)を作る。 ・あいあいルームが地域に開けた場になれば良い(各団体の共有ホワイトボードを作ったり、一般の人が気軽に参加しやすい場など)。 ※ポイント:「参加しやすい雰囲気」
防災・防犯	安心、安全で住みやすい	<ul><li>・ゴミを見つけたら拾う。</li><li>・通学時に合わせた「ゴミ拾いのボランティア」を募集する。</li><li>・困っている人を見かけたら気楽に声掛けをする。</li><li>・危険箇所の情報について、窓口となる存在をつくる。情報を気軽に共有できる場をつくる。</li></ul>
その他	重度障害児でも安心して過ごせる 避難所がある 引っ越してきた住民が地域に入り やすい	・既存の地域活動を継続して行い、PRしていく。

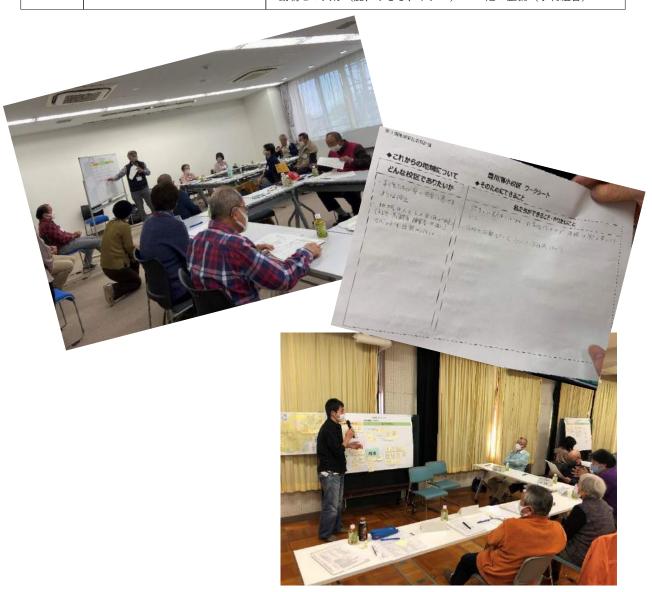
# ⑤萱野東小校区(検討会実施)

日時: 令和2年11月29日(日)10:00~12:00

場所:総合保健福祉センター 大会議室 参加者:35名

テーマ	目指す姿 ~こんな校区でありたい~	取り組み内容 ~そのためにできること~
高齢者	高齢者と幼児が触れ合える地域。	・高齢者がおしゃべりしたり、好きなことを学べる場 ・各自治会館の有効活用と施設の拡充 ・近隣の高齢者施設や保育所と連携したサロン活動
	高齢者が活躍できる地域	・「地域お助け隊」の設立
子ども	子どもが安心して過ごせ、元気に遊べる場がある。	<ul> <li>・元気な高齢者が忙しい親に代わってこども会をつくる</li> <li>・群れ遊びの実施</li> <li>・今あるこども会は細くても継続していく ・コミスポの活用</li> <li>・こども会に代わる緩い組織の構築 ・遊休の畑の利用</li> <li>・公民館などで自主学習や遊べる場をつくる</li> </ul>
	通学路の環境整備	・登校時間帯の歩道の自転車の通行止め
	世代を超えて交流できる地域	・居場所の提供、運営への協力 ・空き家の有効活用 ・マンション集会所の活用 ・福祉施設の休日の有効活用
つながり	各世代毎にできることを分担しあえ る地域	・多世代のコミュニケーションづくり(高齢者世代と子育て世代の良好な関係づくり) ・低学年の親子に、学校で「昔遊び」の授業をすれば、保護者に顔を覚えてもらえる ・親子が参加しやすい地域の催し物を企画していく ・子どもの登下校の見守り活動の人員確保として、孫がいる世帯へ頼む
	地の人と、他所から越してきた人が 仲良くやっていける校区	・全自治会がイベントに参加して、それぞれの顔をつなげる ・自治会単位でイベント周知の働きかけを強化する ・自治会加入を積極的に勧める ・様々な世代が楽しく参加できる活動をつくる(ドッチボール大会、 花植え、地域清掃)
	団体に入らなくても情報交流できる 地域	<ul><li>・団体内で事が終わるのではなく外へのアピールをしていく</li><li>・共助のアップデートが必要</li></ul>
	企業や大阪大学との連携によるアカ デミックな校区	・学生に対してサークル活動的にイベントに参加してもらい地域のことを理解してもらう ・学生を活用できる仕組みを考える(防災や子育て支援など)
地域活動	地域活動することでのつながりづく り	<ul> <li>・自治会やこども会、PTAなど、どの団体でも役員になるのは負担が大きいので、役員になりやすいシステムへの変更を検討。(短時間の作業なら参加できるという人が増えるかも)</li> <li>・分担して協力できる体制づくり(毎週毎月参加と義務化すると拒否する人も多いため、その日だけの参加など、うまく人を探せるような仕組みを考える)</li> <li>・多世代のコミュニティチャンスをつくる・ポイント制の導入(これからの世代にはインセンティブが必要では)</li> </ul>

テーマ	目指す姿 ~こんな校区でありたい~	取り組み内容 ~そのためにできること~
健康	自然に親しむ行事・場所がある健康	<ul> <li>・お散歩推奨ルートをつくる(安全面、休憩用の店、トイレ等にも配慮。休憩所になるコンビニなどでは、飲料の割引などもあり)。</li> <li>→介護予防の観点からも有効</li> <li>・自然を生かしたイベントの発案(アウトドアでのちょっとした危険も、子どもにはそれ自体が学びになる)</li> </ul>
	子どもから高齢者までが元気に過ご せる地域	・子どもから高齢者までが運動できる場所づくり
防災・防犯	災害に耐えられる地域	・災害時の避難所の確保 ・自治会の発足(=行政とのつながり) ・専門委員会の必要性のPR ・安否確認に今後はショートメール等活用できないか ・自治会や管理組合とは別に、防災委員会をつくり活動する ・氾濫しない河川のための清掃、整備 ・崖崩れしないように整備・パトロール ・防災はエリアを見極めた取り組み
その他	自然豊かなまちづくり	・花いっぱい、緑いっぱいの街づくり ・自主管理制度の活用 ・動物との共存(鹿、うさぎ、ホタル) ・池の整備(水利組合)



## ⑥萱野北小校区(検討会実施)

日時: 令和2年10月31日(土) 13:30~15:30

場所: 萱野北小学校 参加者: 29名

テーマ	目指す姿 ~こんな校区でありたい~	取り組み内容 ~そのためにできること~
高齢者	一人暮らしの安否確認	・自治会で一人暮らし高齢者の確認、見守りを実施。
	シニアが元気に活躍	・清掃活動を目的として外出する。
	難聴者にやさしい街	・難聴申請の年齢制限を無制限にする。
子ども	子どもの安全のために見守り・支援 をする地域	・見守り隊を一部に偏らない人員で取り組むため、協力者を増やし割り当てを 検討(PTA、更生保護女性会など) ・わんわんパトロールの復活。 ・店舗の協力を検討。 ・近隣店舗にこども110番の登録を促す。 ・支援が必要な子どもを把握し、手立てを尽くす。
	子どもの遊び場づくり	・子どもが楽しめる企画を皆で協力して実施。 ・公園のルールや使い分けを検討・周知し、使いやすくする。
障害者	障害に対する不安をなくす	・相談先を明確に周知する。 ・障害について「知る」「知ってもらう」。
つながり	高齢者から若者までが一体となれる 地域	<ul> <li>○自治会同士の交流を行い以下の取組みを検討</li> <li>・農業体験の実施、親子の農業体験</li> <li>苗づくり→収穫→作った野菜を料理して食べる場所を作る。</li> <li>そのため、農地活用できる休耕田等の情報を集めたり、JAに相談して国の助成金が受け取れる畑の活用方法等も検討する。</li> </ul>
	近所にカフェ等の居場所があり、気 軽に挨拶やお喋りができる校区	<ul> <li>【居場所の新設】</li> <li>・集会所でお茶飲み会の開催。 ・ラジオ体操を毎日実施。</li> <li>【既存の居場所の発展】</li> <li>・ささえカフェを高齢者から若者までが行きたい場にする。</li> <li>・スマホ教室の拡大とPR。 ・大学生など若い人とつながる。</li> </ul>
	関連団体の役割整理	・各団体代表が集まり話合い。(役割の再確認とできることの整理) ・地域団体同士が活発に交流する。・地域団体の会員数を増やす。
	若い世代の地域への関心を高め、積 極的に活動に参加する街	・地域活動に少しずつ慣れてもらう。 ・「恩返し」の気持ちを活動に。 ・小中学校やPTAと地域団体の交流を増やす。 ・具体的な役目がわかるボランティア募集。
	単身でも地域情報が入る地域	・回覧板、掲示板の充実。 ・地域情報誌を校区内全世帯に配布。 ・連絡会など横のつながりを作る。
地域活動	小さいエリアで助け合いができる校 区	・トラブルを助け合えるご近所づくり。 ・ライオンズマンション箕面自治会のゴミ出し支援に学ぶ。 ・自治会と地区福祉会が協力する。
	サークルがたくさんあり、定職後に 地域とつながれる校区	【サークル活動の拡充】 ・同じ趣味の人が気軽に集まれる場づくり。 【場所の増大】 ・コミセンのような場所を複数つくる。 ・空き家を活用して、居場所や拠点を考える。
防災・防犯	いじめや犯罪のない安心安全な街	・防犯の基本の挨拶をして知り合いを作る。 ・挨拶運動、声かけ、見守りを活発にする。
	近いところに避難所がある校区	・避難所である第二中学校までの場所に、中継地点を確保する。
その他	集合住宅内で買い物ができる	・集会所前などへの移動販売店の誘致。
	緑と花がいっぱいの美しい校区	・公園などくつろぎの場所を作る。・公園でなくてもくつろげるベンチ等を作る。
	安全な校区	<ul><li>・横断歩道と側道の整備</li><li>・ 車いすなどにも配慮された道路の検討</li><li>・ 危険箇所などを行政にも発信する。</li></ul>

## ⑦萱野小校区(検討会実施)

日時: 令和2年11月14日(日)10:00~12:00

場所:総合保健福祉センター分館 講堂 参加者:26名

~こんな校区でありたい~	
	~そのためにできること~
「高齢者を地域で支える什組みをつ	ルールを作る。(見守る方も、見守られる方も) を民生、自治会、福祉会など地域で支える仕組みを
通学時の見守り・現在の見守りを広げる。	
子とも子育て世代とつながる・子どもと高齢者の集える	・学校と高齢者の交流の機会を増やす。 る場所やイベントの実施。 事を開催し、つながるきっかけをつくる。
障害者 困っていることを発信できる ・障害者だけでなく誰もだ	が「困っている」と発信できる雰囲気が必要。
	き込んだ取り組み、コラボ企画。 (何でも屋事業を展開する一般社団法人)への 協力してもらう。
つながり 気にかけあえる隣近所のおつきあ ・花を植えることで挨拶! い ・個人情報に帯しての課題	こつながる。 題を解決し、自治会内の各戸の情報を把握。
いろんな方が集える場所がたくさ んできる・公園の活用・空き	家の活用・マンション集会所の活用
横のつながりのある地域・年に1回他団体との交流	機会をつくる。
・生活に密着した気軽に行う。 ・生活に密着した気軽に行う。 ・空き家、空き店舗、高いフンコイン食堂	行ける場(地域食堂、子育て相談) 高齢者宅の活用
・リタイア後に家にいる身 ・きっかけになる飲み会の ・地域活動の主役は高齢者 ・高齢世帯に学生の下宿野	の企画、顔見知りを作る。 者。
・楽しめる活動、無理をした役割分担、特定の人に負しています。 地域活動の担い手が楽しく参加できる 地域活動の担い手が楽しく参加できる ・ 各団体の役割の明確化。 ・ やるべきこと、不要なも、 働き世代も関わる方法を	負担を集中させない。 ックアップ体制。 士組み。 ものの整理。
・ 「ボランティア=無償」 担い手の新たな形 ・地域活動に対する行政 ・地域で就労できる場	
	- 害時の助けあい。 い。
災害時の助け合えるご近所関係 ・校区ごとの見守りマップ	プの作成・充実。
防災・防犯 災害時に機能する避難所など環境 ・地域の実態にあった避難 整備 ・形骸化している1・15	
スムーズな情報伝達ができる・速やかに行政から工事等	等の情報が入る仕組み。
その他若い人もボランティアに参加する・ボランティアについて	学ぶ場 →5年以内に若い世代に移行。

## ⑧北小校区(検討会実施)

日時: 令和2年10月31日(土) 10:00~12:00

場所:みのおサンプラザ 地下 多目的室 参加者:30名

テーマ	目指す姿	取り組み内容
	~こんな校区でありたい~	~そのためにできること~
高齢者	「高齢者が主役に!」	<ul><li>・気軽に集まれる場所、カフェ。</li><li>・集いの場をたくさんつくる。</li><li>・相談できる場所(人)がある。</li><li>・サロン、敬老会などの送迎。</li></ul>
	元気な男性が活躍する	・40代から定年後を意識させる取り組み。 ・得意なジャンル(趣味など)で引っ張り出す。 ・男性をターゲットにした企画(庭木の剪定、修理など)。 ・単発ではなく定期的な企画。
	地域の子どもは地域で育てる	・幼稚園、保育園、小学校、中学校の活動に協力。
子ども	子どもに顔を覚えてもらう	<ul> <li>【日常型】</li> <li>・元気にあいさつし合う ・声をかける。「おはよう」「おかえり」</li> <li>・登下校の時間に家の前を掃除。</li> <li>【イベント型】</li> <li>・行事(イベント)を通じてつながる(クリーン作戦、敬老会、かんたろう祭り…)。</li> <li>・学校行事との連携(遠足に観光ボランティア、運動会に地域の人の出番をつくる、文化祭への参加)。</li> <li>・子どもと一緒に校区の歴史やお祭りの変遷などを学び、次世代につなげていく。</li> </ul>
	こども会的団体の存続	・親に代わってこども会の応援をする仕組み作り
	気軽に声がかけあえる地域	・住民、地域団体など誰でも集まれる場所をつくる。
つながり	校区内団体からの通信発行を継続 する	○広報誌の一本化 ・コミュニティセンター、青少年を守る会、地区福祉会の活動を知らせる。 ・会計的な負担が減り、業者による全戸配布。 ・全ての年代に見てもらえる。 ・将来は電子媒体での発信を目指す。
	今やっている活動の継続	・自治会への加入を増やす。 ・自治会活動の簡素化。 ・高齢になっても辞めなくていい自治会に。
地域活動	地域活動しやすい街	・お寺を開放(西江寺)。 ・テーマを決めて勉強会(料理教室、IT・スマホ、認知症予防、体力低 下予防体操)。 ・大学生ボランティアを募り、講習会へ派遣。
健康	年に2回血管年齢測定	<ul><li>・サロンなどに取り入れる。</li><li>・健康を意識したサロンの呼びかけ。</li></ul>
防災・防犯	大地震に対する十分な備えがある	・HUG(避難所運営ゲーム)の実施・活用
その他	交通量の増加に対する安全な街	・校区内の住民、地域団体、事業所として、北急延伸や、サンプラザ建 て替えについて共有する場をもつ。 ・パーク&ライドの推進。
	桜並木などの風景を守る	・自治会など近隣で環境を守る。 ・若い世代の転入者の加入。 ・普段のやり取り(つながり)を大切にする。

## ⑨中小校区(検討会実施)

日時:令和2年11月14日(日)13:30~15:30

場所:総合保健福祉センター 大会議室 参加者:40名

テーマ	目指す姿 ~こんな校区でありたい~	取り組み内容 ~そのためにできること~
高齢者	孤立化を防ぐ	・徒歩圏内に出かける場づくり(体操やカフェ) ・福祉施設入所者が施設外に出ていける場づくり →場所については、空き家・空地の有効利用を検討。
子ども	子どもへの声掛けができる	・普段から顔見知りになる。
,	こども会サポーター養成	・親に代わり役員の代行をするなど、こども会の応援をする仕組みづくり。
	多世代で集える場づくり	【イベント型】 ・子どもが親以外の大人と回る「公園ラリー」の実施。 ・運動会、盆踊りの実施 ※ポイント:「楽しい」こと。子どもと高齢者が一緒に活動できる。 自治会の枠を超える。 【日常型】 ・みんな食堂 →小中学生のボランティア、飲食店の協力、学生ボランティア(勉強を教える)
	福祉施設と地域住民のつながりづ くり	・福祉施設や事業所を知る「施設ラリー」の実施。 ・施設行事を住民に開放し参加してもらう。
つながり	地域情報がいきわたる校区	<ul> <li>○校区版情報誌の発行</li> <li>・全世帯に、校区の活動を知らせる(PTA、コミセン、学校、福祉会、守る会、自治会、こども会、老人会等)。</li> <li>・ボランティア参加の機会を発信。</li> <li>・防災に関する情報発信。</li> <li>・高齢者や障害者の相談窓口、かかりつけ薬局などの情報発信。</li> <li>○他の手段</li> <li>・団体間のメーリングリストやインターネットサイトづくり。</li> <li>・掲示板を増やす。</li> </ul>
	ご近所でSOSが発信できる街	・支援の必要な人が身近な人とつながる。 ・普段から挨拶をする。 ・障害や認知症などを知り、理解する。
	男性の活躍の場づくり	・麻雀や囲碁など楽しめる集まりがある。
地域活動	地域活動を前進	<ul><li>・リーダーの養成</li><li>・自治会加入の促し</li></ul>
健康	フレイル予防、未病への取り組み	・医療機関、商業施設等の参加による勉強会等の実施。 ・かかりつけ薬剤師の活用。 ・体操の普及(ラジオ体操、健康体操) ・料理教室 ・親子で運動など(子どもの運動不足が心配)
	熱中症指数の見直し	・暑さ指数を見直してほしい。
防災・防犯	災害時の助け合い	・災害時に情報が届く(声をかけ合える)仕組みや関係づくり。 ・一時的な避難所を増やす(福祉施設、学校など)。 ・障害特性に対応した避難場所の確保。
その他	布ヶ池の活用	・まず市で買い取ってもらい、草刈り→箕面市立病院の建替資材置場→駐車場→公園 → (人口増で) 住宅または公共施設・地域の集まりの場にできないか。
	安全な校区	・車の通行規制(通り抜け防止策の検討)

## ⑩箕面小校区(アンケート実施)

実施期間: 令和3年4月21日~令和3年5月14日 対象者 : 箕面小校区地域検討会参加申込者 32名 回収数 : 25名から回答あり(回収率 78.1%)

### <高齢者について>

項目	回答内容
	・少子高齢化・核家族化で取り残された高齢者が増え、周囲との関係が希薄になっている。
	・独居高齢者が近年明らかに増加している。
	・近所の高齢者で、独居なのか施設に入所されたのか不明な場合がある。
	・独居高齢者の見守りをしているが、なかなか連絡をとれない時がある。
	・コロナ禍でサロンや行事がなくなり、高齢者の様子を窺えないことが心配。
	・独居高齢者は「持病がある」「家族が近くにいない」等、万一の場合に不安を抱えている。
課題	・昼間独居高齢者の情報がほとんどなく、見守ることができない。
水思	・昼間独居高齢者にどこまで関わって良いか迷う。
	・現在西小路地区で高齢者対象の健康体操を週1回行っているが、女性がほとんどで、準備のた
	めの備品移動ができる人がいない。男性の地域活動に参加する人が少なく困っている。
	・近所の高齢夫婦が時々揉めている声がする。息抜きできる所や他の人に会って話せる場があれ
	ば、困りごとを聞いてあげたり、何か手伝えたりできると思う。
	・高齢者の憩いが気楽にできるような施設や場所が少ない。
	・集合住宅の独居の方のゴミ出しができないとの相談が多い。
	・「誰かが気にしてくれている」「いつでも相談にのってくれる」「一人ではない」と安心して生活
校区の	出来る。
目指す姿	・年を重ねても出かける場所(居場所)がある。
	・いつまでも笑顔で元気でいられたら。・高齢男性の地域活動に参加しやすい体制。
	・見守り隊が増えたらと願う。・受け持ちを決めての声掛け運動。
そのための 取り組み	・定期的な訪問診療。・緊急通報システムの徹底。
	・マンション集会室で習字や俳画、絵画、フラダンス、健康体操、ゲーム、おしゃべりなど行っ
	ている。そこで来られなくなった人への声かけもできる。この取組は、マンション内に教えて
	くださる方がいて、またそれを教わる方、来てくださる方と皆さんのおかげで続いている。笑
	顔で元気に年を重ねられる活動が続くことを願う。
	・住民と地域包括支援センター、社協等との安否確認など情報共有を年数回行う。

# <子どもについて>

項目	回答内容
課題	<ul> <li>・ひとり親家庭への目配り。核家族の子育て中のお母さんへの関わり。</li> <li>・地域の子どもたちの楽しみである祭り、運動会等思い出になるものが実施できないのは淋しい。</li> <li>・小中学生等と交流できるような場面が少ない。そういう場があれば、登下校時の見守りにおいてももっと交流のある事ができるのでは。</li> <li>・コロナ禍で子ども食堂の運営にいろいろと問題が浮上してきているのをテレビで観た。近年シングルマザーも増加し、親子共々交流できる場が必要。子ども食堂のさらなる設置に期待する。</li> <li>・幼児、小学生が安心して遊べる公園が少なくなってきている。</li> <li>・近隣の騒音等の苦情から、ボール遊びなど伸び伸びできる公園が少ない。</li> <li>・老朽化もあって子どもたちが楽しく遊べる公園が少ない。</li> </ul>
目指す姿	・子どもたちの明るい声が響く地域であってほしい。
そのための 取り組み	・シルバー世代の方々による登下校の見守り体制。 ・宝である子どもたちを見守る活動などは、高齢になってもつながる場所を作っていけると思う。 ・「もみじだより」に令和3年から公園のリニューアルに着手とあり、魅力的な公園を期待する。

### <地域活動について>

項目	回答内容
課題	<ul> <li>・福祉活動をしている地区福祉会の運営委員が高齢化しており、若年者の人材勧誘が必要。</li> <li>・子どもの見守り、青色防犯パトロール要員など、広く協力者を増やしていきたい。</li> <li>・民生委員の担い手もなかなか見つからない。</li> <li>・老人クラブの方が見守り活動をしてくださっているが、自身の地区ではさらに高齢化し複雑な気持ちになる。世代交代が必要と思われる。</li> <li>・自分の年齢を5年、10年先のことを思うと、同世代のボランティア人口はどうなるのかと考える。そろそろ引退の時期になってくるだろうし、若い世代にバトンを渡せることを願う。</li> <li>・自治会役員の高齢化。</li> <li>・新たな転入者が自治会に加入しない。</li> <li>・地域行事に無関心。</li> <li>・コロナ禍で地域の行事等も中止となり、改めて地域活動の大きさを感じた。</li> </ul>
校区の 目指す姿	・老若男女、できるだけ多くの人が薄く浅く、無理なく地域のことに関わることができる。 ・校区に応じた自治会の地区割り。
そのための取り組み	<ul> <li>・地域では多くの団体が活動しているが、団体同士の協力、共同、事業内容の棲み分けと情報共有があれば良い。</li> <li>・所属団体や役職にとらわれず、地域を見守っていく。</li> <li>・現在は各種団体が多く、そのつながりもほとんどない状況。個々での活動が主であり、ある程度統一できると良い。</li> <li>・他団体と連携して、自ら声掛けができる活動。おせっかいやさん。例:バトロールの強化、サロンへのお誘い</li> <li>・他の団体と協力できる取組が進んでいけたらと思う。</li> <li>・横断的にフリーディスカッションできる。</li> <li>・地域団体の活動、行事等に幅広く多くの人が参加できるようにする。</li> <li>・SNSや掲示板の活用。</li> <li>・今までの守る会等の取り組みでも十分と思うが、シルバー世代が遠慮なく関わりを持てるような敷居のない地域活動を目指せたら良いと思う。</li> <li>・地域の基盤である自治会のあり方(役員の負担減、回覧方法等)を見直す。</li> <li>・自治会未加入者と日頃の(親睦と交流を通じての)連帯感づくり。</li> <li>・校区、町名に応じた自治会の見直しが必要。</li> </ul>

### <防災・防犯について>

項目	回答内容
課題	<ul> <li>・年々高齢者が増えている。有事の際には助け合いが大切であるが実際どれだけできるのか不安。</li> <li>・公園がない。子どもたちの遊び場、皆の憩いの場としてでもあるが、災害時等に対応する場所、道具等の保管場所としても必要。他地区は公園内に収納ベンチを設置している。</li> <li>・空き家が多いことと、高齢者の独居宅が多いため、防犯上の不安を感じることがある。路地(狭く、暗い)が多く、死角も多いため、防犯を含め、道路拡張などの対策が必要と感じる。</li> </ul>
校区の 目指す姿	・若年者や高齢者にとって、安心・安全な地域。
そのための 取り組み	・防災組織の強化 ・ 1/17の防災訓練の見直しが必要かも知れない。 ・ 災害時の対応マニュアルの作成と地域住民への周知徹底。 ・ 防災ステーションの定期的な用具点検と補充及び使用方法等の講習会の開催。

項目	回答内容
課題	<ul> <li>・向こう三軒両隣、周辺住民の協力と情報の共有が必要。</li> <li>・コロナ禍もあり近所付き合いが希薄となり淋しい。</li> <li>・近年は地域も家族単位でも個別化が進み、人間関係が希薄な日常となっている。そのため、独居高齢者や孤立した家族、青少年も昔と比べて増えている。</li> <li>・社会的に弱者の孤立があってはいけないと思う。 ・世代間ギャップも感じられる。</li> <li>・こども会が解散し、自治会加入もなかなか進まず、進めようにも表札がなく (特に集合住宅)、訪ねるにも名前さえわからない地域がある。</li> <li>・回覧板が唯一の安否確認だが、高齢になり役が回るなら退会するなどお互いの助け合う心が薄れてきている。</li> <li>・若い世代は働き盛りで子育てに忙しく、ほか体調がすぐれないなどの家庭もある。無理に自治会や地域の役を持っていくと折角加入していても退会されるという残念な現実がある。</li> <li>・個人情報守秘義務が厳しくなり個人が守られる反面、隣人の情報が把握しづらくなっている。</li> <li>・日々の生活でお互い過度に気を使い用心しすぎ、世代間交流が生活の中で生かしきれていない。</li> <li>・高齢者が多くなり、昔のような活気がない。</li> <li>・百楽荘地区には公園がない。子ども、高齢者のコミュニティーができる場所を確保できれば良い。</li> </ul>
校区の 目指す姿	<ul> <li>・地区ごとのつながりを拡大し、校区全体としてのつながりが深くなれば良い。</li> <li>・自助、共助、公助が唱えられる中、共助(共生)できる支え合いが必要。</li> <li>・世代間交流を進め、隣近所は皆知り合いとなる。</li> <li>・実顔で挨拶を励行できる地域づくりの推進。 ・声をかけやすい地域。</li> <li>・「付かず離れず」ほどよい関係を保ち、人情味のある町。</li> <li>・地域の多くの団体の横のつながりを密にして、情報交換やほっとする居場所の充実。いつでも寄って話し合える、誰かが必ずいてほっと一息つける場所の確保。</li> <li>・地域の家庭や企業や組織がコラボして楽しめるイベント、そしてそれを開催できる空間があちこちにあれば良い。</li> <li>・できる人ができることを少しずつ協力し合う、思いやりの感じる地域。</li> <li>・個々に相談でき、必要な人に必要なヘルプができる身近な存在がいる。</li> </ul>
そのための 取り組み	<ul> <li>・サロンのようなゆるやかでほっとでき、気軽におしゃべりできる場所を数か所開設。(お茶やコーヒーでリラックスしてひきこもりや独居の方が家から一歩出られるような雰囲気づくり)</li> <li>・空き家を改装し、高齢者や子どもたちが気楽に立ち寄れる場所づくり。(昔遊び等でふれあう)</li> <li>・学校やコミセン等、核となる場所を作り、広く地域で集う場所と何かテーマを持った共同作業のできる活動を整理。</li> <li>・DIY 体験空間、読書室空間、野菜作り空間、トレーニングルーム空間など、空き家や近隣の遊休地を活用して若い世代が主体となって運営する空間の創造。</li> <li>・交流・交友だけでなく、住みよい地域構築のための住民同士のコンセンサスを得た目標に向かっての共同作業。</li> <li>・決められたことではなく、地域の中で一つでも自分がやりたいこと、得意なことで地域に貢献できる、つなぎ役みたいな団体があったら良い。</li> <li>・無料または低料金で利用できる施設が身近なところにあれば良い。</li> <li>・八幡大神宮境内の自治会館の有効活用。 ・休耕地を利用した農作物の収穫体験等。</li> <li>・市のラジオ体操の取り組み。10年後にほとんどの市民が参加するようになれば素晴らしい。</li> <li>・子ども食堂を増やす。(そこに高齢者にボランティアとして協力してもらう)</li> <li>・プライバシーにこだわりすぎない、他人に興味を持つ環境作り。</li> <li>・箕面小校区における一部地域の校区見直し案の廃止。(理由:地域住民のコミュニケーションの分断その他。)</li> </ul>

項目	回答内容
≃H H4.	・牧落から箕面に歩く時、途中何度も立ち止まり、腰を下ろしたくなる。椅子があれば助かる。
	・グリーンホールが取り壊される予定だが、大きなイベントが難しくなる。船場には充実した施
課題	設ができるようだが遠い。料金も安価で身近で集える場がほしい。
	・自転車の乗り方が悪い。ルールを守る人は少なく、坂道でスピードを出していく人が多すぎる。
	・足の弱い人、幼い子どもを連れている人、買い物で疲れた人のために休憩する場所を作る。
そのための	・車いす等が通れる環境づくり。
取り組み	・公的な場所で、大人も子どもも自転車の正しい乗り方、ルールの守り方、他の人達への配慮に
	ついて学ぶ機会を増やしてほしい。



## ①西小校区(アンケート実施)

実施期間: 令和3年4月21日~令和3年5月14日 対象者 : 西小校区地域検討会参加申込者 24名 回収数 : 14名から回答あり(回収率 58.3%)

### <高齢者について>

項目	回答内容
課題	<ul> <li>・今後、更に単身高齢者世帯が増加し孤立していくことが予想される。単身高齢者の孤立を少しでも防止することが課題。</li> <li>・集い等が嫌な人に対し、どのように外出機会を増やし、見守りをしていくかが課題。</li> <li>・高齢者本人は、リタイアすれば今までの職場を中心とした人間関係から地域を中心とした人間関係に切り替える努力をすること、即ち地域での交流を深める努力をすることが大切。</li> <li>・認知症はその程度に関わらず、そのままにしておくと電気ガスの扱いの不始末による火災やガス中毒が心配。ご近所関係があれば見守ることで事故を未然に防げるが、現状は万全ではない。集合住宅や家同士の間隔が狭いところは、その認識を特に喚起されるべき。</li> </ul>
校区の 目指す姿	・誰をも孤独に感じさせない雰囲気の地域 ・「助けてほしい」と言える社会 テレビで坂本孤独孤立対策担当大臣に NPO 代表が「相談するのを恥ずかしがる人が多い。だから『助けてほしい』と言える社会を志向している」との発言があった。そういうニーズを受け止めるムードが必要。 ・高齢独居になった時に近所で(地域で)支援を受けられるような校区
そのための 取り組み	・高齢者や独居者への声掛け・見守り活動の更なる充実。(諸団体や訪問型事業体とのタイアップ。担い手の掘り起こし。) 訪問型事業…電気、ガス、水道メーター確認時、新聞配達、ヤクルト等の訪問時に異変察知。情報の収集システム(仕組み)の構築。 ・校区内における高齢者間で一人でも多くの知人を増やす。例えば、高齢者が集って、お茶会、食事会、ハイキング、趣味の会、ボランティア等自由な雰囲気の中で行動を共にできるようなサークルがあり、簡単に仲間入りできるような状態にあれば理想的。 ・シニア塾のような講座を、校区単位で実施する。同じ校区内なら講座で知り合えば他で会う機会も多くなり、別の和もできる。具体的には、①場所はコミセン、②受講科目は1~2科目でも可、③期間は1年で月に1~2回開講、四半期に1回の懇親会、④講師は校区内で特技を持っている方に依頼、⑤募集広告は「福祉だより」に掲載及び地区福祉会幹事による勧奨というような内容。また、受講者の中から地区福祉会の役員・幹事を募ることもできる。・社協が「こまりごとそうだん電話」のような高齢者向けのできるだけ簡単な文字や表現のボスターを各高齢者宅の電話前に貼ってあげ、体調、生活、悩みなど問題を受け付け、担当部署が解決にあたる。

### <子どもについて>

項目	回答内容
校区の	・子育て世帯が増え、高齢者に自然に優しく声かけが出来る温かな地域。子どもたちにも声かけ
目指す姿	が自然に出来るようになってほしい。
そのための	・子どもたちに積極的にあいさつをして声をかける習慣を作る。
取り組み	・登下校時のルートの全交差点に見守りの方がついて子どもたちの安全な登校を確保してあげる。(現在より見守り箇所を増やす)

項目	回答内容
課題	・地域での交流が少なくなり、関係が希薄になっている。
	・世の中が合理的で便利になり、身体的・金銭的に不自由でなければ一人で自由に生活できるた
	め、近所付き合いが希薄になっている。
	・古くからの住民と新興住宅やマンション住民との交流少。
	・自治会で、顔なじみで同じ組の人と判別できるのは70%程度に留まる。このような状況では
	相互の助け合いは困難。特に新しく入ってきた方がわからない。
	・校区に住むすべての人が、自分たちの地域のことに愛着をもてるような校区。
	・近隣の住民同士が笑顔で挨拶し合う地域 (小・中学生と大人が世代間を超えて)
校区の	・近隣とのつながりのある街。(20~30軒を1グループとして見守り、助け合い)
目指す姿	・地区福祉会の1ブロックにつき2~3か所の居場所がある。
	(※地区福祉会は、校区内をエリアごとに9ブロックに分けて活動している)
	・社協のリーダーシップと市民との協議で順次解決していくことが 5 年 10 年先の望ましい姿。
	・まずはご近所での声かけから段々と広がれば…。「向こう三軒両隣」の関係が強まれば良い。
	・お困りごとを直接聞かせてもらったり、見守りの必要な方の情報交換ができたりと、小さな集
	まりでも良いので行えたらと思う。
	・一人で閉じこもらず仲間作りができる場所を作る。福祉会の行事(サロン、文化活動)など。
	・空き家の借り上げ。
	・世代を超えた参加型の催しの開催、活性化。
	(現行の地域運動会や小学生との交流等や音楽祭、つどいの更なる充実)
そのための	・コロナ禍で地区の行事、西小サタデースクール等が中止でこれに代わる世代間交流を考えなけ
取り組み	ればならない。
777	・若い世代の方々が新しいやり方で考えてほしい。
	・個人や一つの団体でできるものではない。学校を中心に一つの目標に向かって取り組むことが
	大切。
	・ボランティアの発掘と育成(居場所運営のキーマンの育成、支援)
	・課題の実行には世話役が必要とされる。ボランティアがいなければ、シルバー人材センター、
	アルバイト、嘱託など有償でも。人件費負担は社協で、それが不可なら市の福祉問題としてレ
	ベルを上げ、市に負担をお願いすれば良い。
	・社協が各校区と身近な関係を保つこと。区民のその時々の声を聴き、課題認識の参考にする。

### <防災・防犯について>

項目	回答内容		
	・周りがほとんど高齢者世帯。災害時(安否確認、避難方法等)、火災など不安なことがが多い。		
	・災害時に避難所に無事行けるか心配。(遠く、坂道多し、足場悪し)		
	・高齢者が多く誘導困難、地域の若い人にも協力願いたい。		
	・突然の災害や病気になった時の行動に不安を感じる。		
課題	・地域での交流が少なくなり、関係が希薄。大人同士のつながりがなく、災害時の対応が心配。		
	・自治会世話役の顔や名前、電話番号もわからず、会員のお互いの面識もない。これでもし災害		
	があって、避難などうまくいくか疑問。		
	・西小校区及び自治会の防災意識が低く、大規模災害発生時の対応が不安。		
	・高齢者が防災委員を担当しても有事の活動は無理。		
校区の	・安心できる地域になってほしい。		
目指す姿	・どのような災害が発生しても、スムーズに対応できる。		
70140	・警察、消防、自治会等が普段から連携し、地域社会と関わっていくことが重要。		
そのための 取り組み	・緊急事態宣言発出で開催できていないが、今年度から毎月自治会で防災勉強会を開催している。		
以り組み	・各家庭に緊急ベルのようなものが設置されたら安心して暮らせる。		

### <地域活動について>

項目	回答内容
課題	<ul> <li>・自治会、地区福祉会、老人会等の地域を支える担い手不足。</li> <li>・ボランティアの固定化、高齢化(ボランティアを引き受けてくれる人がいない)</li> <li>・人の世話をしようと思わない人が多い。</li> <li>・自治会業務のできない人の増加。自治会運営が難しい。(空き家の増加、高齢化)</li> <li>・自治会への関心の欠如。仕事を理由にして自治会役員のなり手がいない。</li> <li>・自治会などでのコミュニティがない。</li> <li>・人が動くとお金がかかることが多い。</li> <li>・自治会などでもお金がないので顔を合わせてイベントすらできない。</li> <li>・自治会の加入率の低下が気になる。</li> </ul>
校区の 目指す姿	・仕事とボランティアの両立。生き生きと楽しみながらできるボランティア。 ・自治会の同じ組なら、子どもを含めてどこの誰かがお互いにわかるような関係にもっていけれ ば。
そのための 取り組み	<ul> <li>・保護者、青少年を守る会だけではなく地区福祉会をはじめ他の団体の協力を得て、西小校区の他団体が一つになり、校区全体が安心・安全に暮らせる地区にする。</li> <li>・自治会も含め地域団体との交流。(校区全体ではなく地区福祉会の1ブロック範囲に居住している各団体に所属する人)</li> <li>・若い人にボランティアに関わってもらうための方策の検討。</li> <li>・自治会の同じ組に属する人が集まる機会があればよい。</li> <li>・他の自治会の活動を紹介できる場面もあれば良い。</li> </ul>

項目	回答内容
課題	<ul><li>・金銭的に貧困な人の生活が、あまり表面に出ていないように感じる。</li><li>・坂道が多いので、高齢者が出かけるのが億劫になっている。</li><li>・坂道の傾斜や段差、凹凸で歩きづらく、自転車も歩道を通るので危険。</li><li>・生活上必要なお店が中央線沿い、箕面駅周辺に偏っている。</li></ul>
校区の 目指す姿	・外出しやすい歩きやすい歩道の整備。
そのための 取り組み	<ul><li>・坂道が多い地域は、居場所までの送迎をする。</li><li>・気軽に出かけられるよう、玄関前まで来てくれる送迎者(大阪市が実施試験中のオンデマンドバスのような)があれば良い。</li></ul>



## ⑫南小校区(アンケート実施)

実施期間:令和3年5月9日~令和3年5月24日 対象者:南小校区地域検討会参加申込者 24名 回収数:14名から回答あり(回収率 58.3%)

### <高齢者について>

項目	回答内容
	・高齢化が進み、独居の方々の孤立が心配。
	・コロナ禍で高齢者の身体機能や認知機能の低下が加速している。
	・奥様の身体が悪く、世話をしているご主人も足が悪く、夫婦どちらも買い物に行くのが大変で、
	この先心配な高齢者世帯がある。
	・気が付かない内に認知症が発症していたり、突然予期しない行動が複数件発生したりしている。
課題	・コロナワクチン接種の件で、電話がつながらない、ラインができない、近くに相談できる知り
	合いもいない等、申し込みができずに困っている。
	・責任を持って回覧板をまわせないという理由で、独居高齢者が自治会を退会した。本来の趣旨
	から考えると本末転倒なのでどうすればいいものか。
	・高齢化社会で寂しい思いをしている人が多い反面、もし訪問や電話を迷惑がっている人がいる
	なら知りたい。
	・高齢者が気軽に集える場所がたくさんある校区。
校区の	・オープンな集いの場が屋内外に多くつくられ、気軽におしゃべりして気分転換できる校区。
目指す姿	・看護師等の資格者による年に数回の巡回訪問で、高齢者の認知症等の発症を事前に予見しやす
	い校区。
	・まちかどデイ、カフェ、サロン等の増設。
	・地域イベント開催時等に、住民の顔見知りを多くつくるよう働きかける。
そのための	・小中学生への認知症の理解を深めるワークショップを開催する。
取り組み	・小学校の登校班ごとに高齢者のゴミ出しを手伝う。
	・閲覧確認機能付きの WEB 回覧板が安否確認にもつながるので、高齢者には別居のご家族に代
	役をしていただく仕組みを考える。

### <子どもについて>

項目	回答内容
課題	・マスクに囲まれた環境で育った子どもたちの将来がとても心配。
校区の 目指す姿	・子どもたちが安心して生活できる校区。 ・子どもたちがきちんと挨拶できる校区。
そのための 取り組み	・地区福祉会や青少年を守る会等が中心となり話し合い、学校の場を借りて小規模でも催し物を 始めていく。 ・シニアボランティアが散歩しながら放課後パトロールをして、地域全体で子どもたちを見守れ るシステムづくり。

### <障害者について>

項目	回答内容
課題	・障害者や高齢者が地域に積極的に参加できるように、活動内容、居場所、役割等をみんなで考えていかないといけない。
校区の	・障害者が人とのつながりをつくれるイベントや場所があり、いつまでも安心して楽しく暮らせ
目指す姿	る校区。
そのための	・障害者と触れ合う場をつくり、障害者の理解を深める活動をしていく。
取り組み	・障害者が地域に貢献できる場所をつくっていく。

項目	回答内容
課題	<ul> <li>・世代間交流の場が少なく、高齢者と子育て世代との連携が少ない。</li> <li>・マンションに住んでいる人はコミュニケーションが少なく、地域とのつながりも希薄になるため孤立しがち。</li> <li>・隣人の消息が不明でも、個人情報の問題で何も分からない。</li> <li>・地域のつながりがなく他者に対する思いがない。大半の人が無関心。</li> </ul>
校区の 目指す姿	・コミュニティセンターや自治会館等、気軽に立ち寄れる場所が多い校区。 ・自分と違う世代にも理解と共感ができ、日常生活に無理をせず地域のために活動ができる校区。
そのための 取り組み	<ul><li>・お金のかからない居場所をたくさんつくり、愚痴を話し合う相手をつくる。</li><li>・人口減少、高齢化、災害頻発等の諸問題に対して、地域のつながりを再構築し、地域に根差した組織づくりを目指す。</li></ul>

### <地域活動について>

項目	回答内容
課題	・後継者不足等で自治会や管理組合の運営が心配。
校区の 目指す姿	・地域での見守りや声かけを大切に、ご近所福祉で気遣い合う校区。 ・すべてのことはいつか自分にも起こりうることだと、地域のことを他人ごとにしない校区。
そのための取り組み	・自治会同士や各種団体間で、意見交換会や交流会を実施し連携活動する。 ・地域での課題を出し合い行政へ相談し、可能なことから実行していく。 ・コミュニティセンターに管理者を常駐させ、ロビーを無料開放して寛げる場所にする。 ・地域ごとに 10 人単位の小さい組織をたくさんつくり、コンピューターネットワークで情報共有し、小さい活動ができるようにしていく。

### <防災・防犯について>

項目	回答内容
課題	<ul><li>・コミュニケーションが少ない方々の災害時の対応等が心配。</li><li>・感染症含む災害時の役割分担、避難先、必要物資の確保。</li><li>・災害時に桜ヶ丘5丁目から南小学校へは遠過ぎてたどり着けない。</li><li>・空き家が多く治安上心配。</li></ul>
校区の 目指す姿	<ul><li>・災害時にみんなで助け合い頑張れる校区。</li><li>・防犯カメラや防犯灯の更なる整備で、昼夜問わず安心安全な校区。</li><li>・顔見知りが多くなれば犯罪がしにくくなるので、だれとでも気軽に挨拶を交わせる校区。</li></ul>
そのための 取り組み	・災害時の役割分担を決める場、具体的な訓練ができる活動。 ・行政や警察にも協力を要請し、地域の子どもたちや高齢者を対象にした見守りパトロールを強 化していく。

項目	回答内容
課題	・坂で転倒する高齢者がいるため、道路の整備や休憩場所が必要。
校区の 目指す姿	・遊具やトイレが整備され、幼児から高齢者の多世代が利用できる公園がたくさんある校区。 ・大阪市内中心部のように、道路がすべて一方通行になり、歩道が整備された校区。 ・勾配道路や箕面川沿いに、遊歩道や休憩ベンチがある校区。
そのための 取り組み	・大阪市内中心部のように道路をすべて一方通行にし、歩道を整備することを都市計画へ盛り込んでもらえるよう行政へ働きかける。

## ⑬西南小校区(アンケート実施)

実施期間:令和3年5月9日~令和3年5月24日 対象者 : 西南小校区地域検討会参加申込者 26名 回収数 :16名から回答あり(回収率 61.5%)

### <高齢者について>

項目	回答内容
=H HZ	・コロナ禍でだれかと話す時間が減っている。頻繁に来ていた家族が来なくなっている。
	・インターホンを押してから玄関に出て来るまで、とても時間がかかるようになった。
	・歩いた方が健康に良いことは分かっていても、足が痛くて歩けない。
課題	・勾配の多いエリアに住む高齢者の移動手段。
	・多世代交流やサロン等への参加率が下がり、独居高齢者が地域から孤立し、ひきこもり・寝た
	きり・認知症等が増加するのではないか。
	・高齢者同士のグループができ、気軽に話せる友がいる校区。
松豆の	・日々の挨拶と積極的な声かけを地域みんなで実施できる校区。
校区の	・ご近所コミュニティが醸成され、狭い範囲でも自然と独居高齢者の見守りや地域参加が行われ
目指す姿	る校区。
	・60 歳以上のボランティア活動者が増える校区。
	・積極的に人の集まりに参加できるような環境をつくり、仲間づくりの場をつくる。
	・ご近所での積極的な挨拶とおしゃべりを行政が推奨し、まずは率先して市職員が実践する。各
フの <b>ナ</b> はの	種団体の構成員は、サポーターとして市職員の協力をする。
そのための 取り組み	・たくさんの声かけ体制(地域のイベントや行事・一声訪問員・民生委員・自治会・買い物や道
	端で出会ったとき・ポストや家の灯り等で異変を感じたとき・ワクチン接種の予約ができたか
	どうか)
	・勾配の多いエリアに住む高齢者への買い物支援。

### <子どもについて>

項目	回答内容
	・他校区では多くの保護者が腕章をつけ黄色い旗を持ち、見守りをしている。時にはパトカーも
課題	停まり警察も協力している。西南小こそ国道を渡る危ない道もあるため登下校の見守りが必要
	と感じる。
校区の	・若い世帯や子どもが多くなり、笑顔が増え、教育や安全面で暮らしやすい環境の校区。
目指す姿	「石い世帯へ」ともか多くなり、天顔が唱え、秋月へ女王曲に春りしてすい衆境の収色。
	・他校区の状況を西南小に伝え、保護者に働きかけ、警察にも協力を求める。
	・登校時間に積極的に挨拶運動をすることで保護者とのコミュニケーションを図る。
そのための	・横断歩道に大人が立っているだけでも、運転者は気付きやすくなりスピードを緩めてくれるの
取り組み	ではないか。
	・地区福祉会や更生保護女性会の挨拶運動は門の前だけなので、校区全域での見守りが必要。
	・公園での清掃、花づくり等のイベントを開催し、子どもたちと交流をしながら見守っていく。

### <障害者について>

THE HOLD STATE OF THE STATE OF	
項目	回答内容
課題	・中学校卒業後は地域外の支援機関を利用する人が多いため、徐々に障害者と地域住民の接点が 少なくなる。災害発生時に、地域でどこまで障害者のサポートができるのか考える必要がある。
校区の 目指す姿	・生活上の課題がある世帯を専門的な組織や人材で支援し、地域住民で可能な限り後方支援をし、 支え合いながらだれもが安心して暮らすことができる校区。
そのための 取り組み	・差別解消法は地域の隅々まで浸透しているとは言えないため、地域それぞれの世帯層や社会資源に合わせて、社会福祉協議会・地縁団体・行政組織・当事者団体等が複合的に活動していく。

項目	回答内容
課題	・気軽に利用できる場所が少ない。高齢者の行きやすいサロンや、世代を越えた交流の場が多く 必要。
校区の 目指す姿	<ul> <li>・年代を気にせず多世代で交流できる場がたくさんあり、顔見知りが多い校区。</li> <li>・自治会館・生涯学習センター・図書館・コミュニティセンター等のあらゆる場所で、いつでも体操やお話ができる校区。</li> <li>・高齢者は自分たちの未来像だと認識し、地域みんなが家族だと思える校区。</li> </ul>
そのための 取り組み	<ul><li>・自治会単位やご近所単位で集える場を作る。</li><li>・経験豊かな高齢者と、共働き家庭の子どもたちが一緒にできることを考える。</li><li>・幼児と保護者が遊ぶ、小中学生が宿題をする、読書や将棋で自由に過ごす等、だれもが立ち寄れ休憩できるような場所で、顔見知りとコミュニケーションを増やし助け合う。</li></ul>

### <地域活動について>

項目	回答内容
課題	・高齢化が進み、自治会員が年々減ってきている。 ・企画側や見守り側の担い手が不足していくのではないか。 ・若い世代が参加できる地域活動が少ない。
校区の 目指す姿	・敬老の集いや地域運動会等を各種団体で協力して実施できる校区。
そのための取り組み	・日頃から地域の人たちと朝夕の挨拶で気軽に交流し、笑顔を心がける。 ・「向こう3軒両隣」の気持ちを広げる意識で付き合い、行事などで積極的に話す機会をつくる。 ・自分たちが担っている地域の役割を若い世代に引き継いでいく。 ・地域の活動の会議回数減や時間短縮等で、若い人が参加しやすい環境をつくる。 ・近所のゴミ出しを手伝う。 ・料理を作り過ぎたときはお裾分けをする。

# <防災・防犯について>

項目	回答内容
課題	・災害発生時に独居高齢者を誘導する体制や役割分担。 ・自治会に加入していない家は、災害時に避難しても疎外されるのではないか。 ・空き家の増加は災害時の風雨被害を助長するため不安を感じる。
校区の 目指す姿	・安心安全な道が整備され、散歩しながらコミュニケーションがとれる校区。

項目	回答内容
課題	<ul> <li>・だれが、いつ、どう公園の管理をしていくのか。</li> <li>・買い物道中に交通量の多い危険エリアがある。</li> <li>・西南小校区でも生活困窮者が潜在していると感じる。</li> <li>・近隣に大学等の研究機関もあり外国籍住民が多いが、国際交流協会等のサポート体制が箕面市西部側では薄い。外国籍のかたの把握やアウトリーチ型の支援等、地域でのフォローが必要。</li> </ul>
校区の 目指す姿	・道路の交通量が少なく、事故が起きにくい校区。
そのための 取り組み	・居場所に行くまでの道中で危険な箇所を点検し、安心安全な道路に整備してもらえるよう働き かけていく。

## ⑭止々呂美小校区(アンケート実施)

実施期間:令和3年5月9日~令和3年5月24日

对象者 : 止々呂美小校区地域検討会参加申込者 17名

回収数 :10名から回答あり(回収率 58.8%)

### <高齢者について>

項目	回答内容
課題	<ul> <li>・止々呂美エリアでは若い世代が少なくなってきており、住民の半数が65歳以上の高齢者。</li> <li>・森町エリアでは、若い世代はPTA等で子どもを中心としたコミュニケーションが取れているが、高齢者は比較的コミュニケーションが少ないと思う。</li> <li>・森町エリアは学校を増築するほど年々子どもが増えているが、止々呂美エリアは子どもが少ない高齢地域で、限界集落になりつつある。今後、農業の継続や各種活動への参加維持が不安視され、衰退が心配される。</li> <li>・止々呂美エリアは玄関から公道までに坂道や段差のある家が多く、高齢になると外出しにくい。</li> <li>・耳が遠くなった高齢者は、外からの声かけや電話に気付かないため、安否確認が難しい。</li> </ul>
そのための 取り組み	・居場所の目的を決めず、それぞれ自分の趣味や遊び等で気軽に集まれる場をつくる。 ・まちかどデイサービス等、玄関から送迎のある集いの場をつくる。

#### <地域活動について>

項目	回答内容
課題	・老人クラブの活動がコロナで開催できていない。 ・地区福祉会、老人クラブ、地区防災委員会等の役を高齢になっても当番制ですることが負担。 ・担い手不足、次の世代に活動を伝える人が少なくなっていくこと。
校区の 目指す姿	・みんなが健康で、明るく連帯感のある校区。 ・若い世代の多い森町エリアでサロンや交流が活発に行われ、止々呂美エリアの高齢世帯を応援 していける校区。
そのための 取り組み	<ul> <li>・交流する場所、居場所の活動内容、高齢者の移動手段等を話し合う。</li> <li>・シニア個人の得意な分野を活かした活動を開催する。たとえば、音楽会・講演会・スポーツクラブ等。</li> <li>・自治会館を利用して、茶話会・健康体操・子育てサロン等の交流会を定期的に行う。</li> <li>・住民同士で楽しめる、ゆるやかなストレッチ教室を開催する。</li> <li>・コミュニケーションツールを豊富に活用し、みんなが親しみやすい言葉とデザインで表現し、だれもが参加しやすい取り組みをする。</li> <li>・世話役に負担をかけ過ぎないシステムとルールを考え、みんなが参加しやすい活動にする。</li> <li>・近所のちょっとしたことを助け合う、「ちょっとボランティア」を増やしていく。</li> <li>・高齢者自身がボランティアに積極的に参加できるよう、ボランティアポイントを設定する等の仕組みをつくる。</li> </ul>

### <防災・防犯について>

項目	回答内容
課題	<ul> <li>・止々呂美は周りに山が多く、災害時は危険個所が多くなる。そのため災害時には、行政が迅速に動いてくれる等の取り決めが必要。</li> <li>・災害時の避難場所が遠く、状況によっては車でも行けなくなるので心配している。</li> <li>・災害時にペット保護をどういった優先順位で行うか、具体的なルールを定めておく必要がある。</li> </ul>
校区の 目指す姿	・設置した防犯カメラを見ることがないよう、事故や事件が起きないことを願う。
そのための 取り組み	・災害に強いところ、弱いところ、すぐに対処すべき部分等、市に調査をしてもらえないか相談 し、その結果を地域で話し合う。

### <つながりについて>

項目	回答内容
課題	・活動に参加をしないと地域住民との関係が断たれる。 ・70歳以上の独居や高齢夫婦は、秋から冬場にかけて外出が減るため人とのつながりがほとんどなくなり、コミュニケーション不足になっている。
校区の 目指す姿	・ちょっとした集まりがたくさんあり、年齢問わず集まれる居場所がある校区。 ・若い人の力も合わせ、お互い支え合い、歌ったりおしゃべりしたりできる場所が多くある校区。 ・止々呂美エリアと森町エリアが別々に活動せずに、共生共助、明るく楽しく助け合う校区。
そのための 取り組み	・高齢者の多い止々呂美エリアと、若い世帯の多い森町エリアとの交流を増やす。 ・高齢者が子どもを見守り、昔あそびを教え、おもちゃを作る等の多世代交流の場をつくる。 ・頻繁に開催できないのであれば月に一度でもいいから、おしゃべりができるような気楽な居場所をつくる。

項目	回答内容
課題	<ul> <li>・箕面市内に行く手段が少ないため、オレンジゆずるバスを日に何回か運行してはもらえないか。</li> <li>・交通手段の問題で、市街地の充実している施設やサービスが利用できない。市街地に住む人たちと止々呂美にはハンディがある。</li> <li>・止々呂美と森町が一つのまちとして成り立つためには、医療機関、商業施設、公共施設等がまだまだ不十分。</li> <li>・止々呂美エリアと森町エリアでは、地形や生活環境が異なるため、議論が難しい部分もある。</li> </ul>
校区の 目指す姿	・市街化調整区域として、自然豊かな農村地域を大切にしながらも、住宅の開発、人口の増加、 公共施設の整備、遊休田の利用等が進められ、地域の高齢者が参加できる交流場が多くある校 区。
そのための 取り組み	・今の状況のままでは、地域だけで活性化を図ることは絶望的。全国や箕面市の事例で、過疎地 区が再生された具体的な方法があれば教えてほしい。